

志布志小学校トイレ環境整備工事

図 面 リ ス ト					
建 築 工 事		電 気 工 事		機 械 工 事	
番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
A-01	図面リスト		電気設備は別途工事とする。	M-01	機械特記仕様書
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)			M-02	配置図・付近見取り図
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)			M-03	機器表・工事区分・凡例
A-06	建築改修工事特記仕様書(5)			M-04	1F 改修後平面図
A-07	建築改修工事特記仕様書(6)			M-05	2F 改修後平面図
A-08	建築改修工事特記仕様書(7)			M-06	2F 改修後平面図
A-09	建築改修工事特記仕様書(8)			M-08	1F 改修前平面図
A-10	建築改修工事特記仕様書(9)			M-09	2F 改修前平面図
A-16	付近見取図・配置図・仮設計面図			M-10	3F 改修前平面図
A-18	改修設計概要仕上表(1)			M-12	1F トイレ改修前、改修後平面
A-20	既存1階平面図			M-13	2F トイレ改修前、改修後平面
A-21	改修1階平面図			M-14	3F トイレ改修前、改修後平面
A-22	既存2階平面図			M-15	トイレ参考展開図
A-23	改修2階平面図			M-16	参考詳細断面図(改修前・改修後)
A-24	既存3階平面図			M-19	換気設備 機器表・平面図
A-25	改修3階平面図				
A-42	トイレ 平面詳細図・断面詳細図				
A-52	改修トイレ平面図				
A-53	改修トイレ展開図・建具図・天井伏図				

4 防水改修工事(続き)

8 塗膜防水

9 シーリング

屋内防水		保護層	
種別	施工箇所	平場のモルタル塗り	
S-C1		塗り厚さ	立上り部の保護モルタル塗り厚さ
		※改修標準仕様書 6.15.6(b)(2)及び(3)に準ずる	※改修標準仕様書 6.15.6(c)(1)に準ずる
床塗り場合の床の目地			
目地割り(・) 2m程度 最大目地間隔3m程度			
目地の種類(・) ※押し目地			
ルーフィングシートの種類及び厚さ			
種類(・) 厚さ(・) mm			
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による			
絶縁シートの材質 ※発砲ポリエチレンシート			
固定金具の材質、形状及び寸法			
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板			
脱気装置の種類及び設置数量			
種類(・) ※ルーフィングシート製造所の仕様			
設置個数(・) 個 ※ルーフィングシート製造所の仕様			
接着工法の目地処理			
プレキャストコンクリート下地(・)			
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別 S-F1、SI-F1の場合)			
行う(・) 図示(・) 行わない			
[3.6.2, 3]			
工法	種別	施工箇所	仕上塗料
POX	※X-1 ・X-2		種類
			使用量
L4X	※X-1 ※X-2		種類
			使用量
ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量			
種類(・) ※主材料製作所の仕様による			
設置個数(・) 個 ※主材料製作所の仕様による			
工法	種別	施工箇所	仕上塗料
PIY	※Y-1		種類
			使用量
P2Y	※Y-2		種類
			使用量
シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2~8]			
・シーリング充填工法			
・シーリング再充填工法			
・幅巾シーリング再充填工法			
・ブリッジ工法			
ポンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない			
エッジング材張り ・適用する ・適用しない			
シーリング材の種類、施工箇所			
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.11による			
施工箇所	シーリング材の種類(記号)		
シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書表3.7.3(a)(1)~(3)による			
シーリング材の接着性試験 [3.7.8]			
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験			

4 防水改修工事(続き)

10 とい

11 アルミニウム製笠木

12 保証書及び期間

5 外壁改修工事

- 1 可とう性エポキシ樹脂
- 2 テ状エポキシ樹脂
- 3 エポキシ樹脂モルタル
- 4 ポリマーセメントモルタル
- 5 ポリマーセメントスラリー
- 6 既製調合モルタル
- 7 施工数量調査票

種別	材種	径	施工箇所	備考	
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管				
	・配管用鋼管			SUS304、厚2	
軒どい	・ステンレス鋼管				
	・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)				
ルーフトレン					
種別	材種	張掛け幅			
・ろく屋根用(・縦型・横型)		・100mm以上			
・バルコニー用		・50mm以上			
		・100mm以上			
・バルコニー中継用		・50mm以上			
		・100mm以上			
とい受金物					
材種	・鋼製(亜鉛めっき) ※ステンレス製				
形状	・ ※市販品(とい径100以下)				
	※25×4.5以上(とい径100を超えるもの)				
取付間隔	・				
足金物	・				
材種	・鋼製(亜鉛めっき) ※ステンレス製				
形状	・ ※市販品				
取付間隔	・				
ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量					
※規制対象外					
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示					
鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書 表3.8.4による					
たてどい金物の取付け ※図示					
ルーフトレンの取付け					
※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					
種類	本体幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	着色	
・オープン型式	・押出250形 ・押出300形 ・押出350形	・	・A-1 ・B-1	・標準色	
				()	
・	・	・	・	・特注色	
				()	
・	・	※2.0以上			
・	・	※2.0以上			
既存笠木等の撤去 ・行う(範囲) 図示()					
下地補修の工法 ※図示					
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示					
棟上避雷導体システム ※無 ・有					
防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)					
(品質・性能・試験方法)	建築材料等品質性能表による			[4.2.2]	
(品質・性能・試験方法)	建築材料等品質性能表による			[4.2.2]	
(品質・性能・試験方法)	建築材料等品質性能表による			[4.2.2]	
(性能)	建築材料等品質性能表による			[4.2.2]	
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)
3以上	3以下	0.50以上	5.0以上	15以上	5.0以上
保水係数	0.35~0.55				
粘調係数	0.50~1.00				
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。					
(品質・性能・試験方法)					
建築材料等品質性能表による					
調査項目	※外壁改修 ・防水改修 ・内壁改修 ()			[1.5.2]	
調査範囲	※図示 ()			[1.5.2]	
調査方法	※打診及び目視による ()			[1.5.2]	
既存部分の破壊を行った場合の補修方法	※図示 ()			[1.5.3]	
調査内容					
外壁調査は工事に先立ち全外壁面のひび割れ、浮き、欠損部の位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。報告書は、結果を立面図等に記載し監督職員に提出する。(必要に応じ写真を添付する。)					
調査報告書の部数 ※2部 ()部					

5-1 外壁改修工事(続き)

2 欠損部改修工事

5-2 外壁改修工事(続き)

3 欠損部改修工事

1 ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.5.5, 6]			
2 欠損部改修工事	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	・ ※200~300	※130	
1 存モルタル塗りの撤去	2 ひび割れ部改修工法	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	・ ※200~300	※130
3 欠損部改修工事	2 ひび割れ部改修工法	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 0.3以上~0.5未満	・ 50~100 ・ 100~200	※40 ※70
3 欠損部改修工事	2 ひび割れ部改修工法	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	・ 150~250	※130
エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形					
注入状況の確認方法 ※コア抜き取りを行う					
抜き取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個					
抜き取り部の補修方法 ※図示					
Uカットシーリング材充填工法					
材料 ・シーリング材					
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系					
シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※行う					
・可とう性エポキシ樹脂					
シール工法					
材料 ・パテ状エポキシ樹脂					
・可とう性エポキシ樹脂					
充填工法					
材料 ・エポキシ樹脂モルタル					
・ポリマーセメントモルタル					
モルタル塗替え工法					
・現場調査材料					
(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)					
・既調合材料					
既製目地材 ・使用する(形状) 図示()					
仕上り厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示					

5-5 マスチック塗材塗り 6 外壁改修数量表

7 外壁用塗膜防水材塗り

6 1 改修工事

2 防火戸

3 防犯建物部品

4 アルミニウム製建具

5 網戸等

6 樹脂製建具

網戸等

樹脂製建具

網戸等

樹脂製建具

網戸等

樹脂製建具

網戸等

樹脂製建具

6 7 鋼製建具

8 鋼製軽量建具

9 ステンレス製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

鋼製建具

6 11 建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

建具用金物

6 建具改修工事(続き)

15 軽量シャッター
開閉方式による種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2~4]
シャッターケース ※設ける ・設けない
耐風圧強度() N/m2
スラットの材質
※JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっき付着量(※Z06又はF06)
※JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)
めっき付着量(※AZ90)
スラットの形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
ガイドレール・座板の材質 ※ステンレス(SUS304) ・溶融亜鉛めっき鋼板
電動式の場合の危害防止機構 ※有(障害物感知装置自動閉鎖型)
電動式の場合の電源 ※単相100V(過電流保護装置付) ()

16 オーバーヘッドドア
セクション材料による区分
耐風圧区分
開閉方式による区分
収納形式による区分
ガイドレールの材質

17 ガラス
フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による
網入り板ガラス及び線入り板ガラス網又は線の形状
板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

合せガラス
材料の板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びにガラスの合計厚さによる種類
※建具表による
形状による種類
平面合せガラス ・局面合せガラス
落球衝撃によるはく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・1類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類

熱線吸収板ガラス
板ガラスの種類
性能
色調
熱線吸収フロート板ガラス
熱線吸収納入磨き板ガラス

複層ガラス
材料板ガラス種類品厚さの呼びによる種類断熱性
日射熱遮へい性
断熱複層ガラス
日射熱遮へい複層ガラス

熱線反射ガラス
材料板ガラス種類品厚さの呼びによる種類断熱性
耐久性
熱線反射ガラス
色調(ブルー・グレー)
高性能熱線反射ガラス
色調(ブロンズ・シルバー)

耐熱板ガラス
材料板ガラスの種類
厚さ(mm)
色調
熱線吸収タイプ
熱線反射タイプ

倍強度ガラス
材料板ガラス種類
厚さ(mm)
色調
フロート倍強度ガラス
熱線吸収倍強度ガラス

ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類
ガラス留め材
ガラス溝の大きさ(mm)

18 鍵箱
形式 ・30本入()個 ・60本入()個 ・120本入()個 ・本入()個
鋼製市販品とし、監督職員承諾による

7 内装改修工事

1 改修範囲
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・図示

2 既存床の撤去及び下地補修
ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]
下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去方法 ・目荒し工法
既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による

3 既存壁の撤去及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置 ・行う ・行わない)
・図示

4 下地等の表面仕上げ
表面仕上げの種類
適用箇所
機械加工
手加工

5 製材
「製材の日本農林規格」に基づく下地用針葉樹製材 [6.5.2]
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用

「製材の日本農林規格」に基づく造作用針葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用

「製材の日本農林規格」に基づく広葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用

「製材の日本農林規格」以外の製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の適用

6 材用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「集成材の日本農林規格」に基づく造作用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」に基づく化粧ばり造作用集成材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」に基づく化粧ばり構造用集成柱
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 間伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用

7 造作用単板積層材
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用

7 内装改修工事(続き)

8 床張り用合板等
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
施工箇所 厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「合板の日本農林規格」、「普通合板の規格」に基づく普通合板 G [6.5.2]
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」、「構造用合板の規格」に基づく構造用合板 G
施工箇所 厚さ(mm) 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」、「化粧ばり構造用合板の規格」に基づく化粧ばり構造用合板 G
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」、「天然化粧合板の規格」に基づく天然化粧合板 G
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」、「特殊加工化粧合板の規格」に基づく特殊加工化粧合板 G
施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理

パーティクルボード G
施工箇所 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分

「構造用パネルの日本農林規格」に基づく構造用パネル
施工箇所 厚さ(mm) 等級

9 接着剤
接着剤 [6.5.3, 4][6.8.2][6.9.3][6.11.4.5]
接着剤は可塑性(難揮発性の可塑性を除く)が添付されていないものとする
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類

10 腐・防蟻処理
防腐、防蟻処理が必要な樹種による製材
適用部位: ()
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部位 保存処理性能区分

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
適用部位 処理の方法
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②ア～エによる
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②ア～エによる
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②ア～エによる

ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理
適用部位 ()

7 内装改修工事(続き)

11 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]

野縁等の種類
 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形)
 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等
 野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔・900程度・()
 周辺部の端からの間隔・図示
 野縁の間隔・300程度・()
 既存の埋込みインサート・使用する・使用しない
 あと施工アンカーの引抜き試験・行う(屋外の試験荷重:)・行わない
 ・行う 試験箇所数() 箇所 ※屋内の場合、当該階において3箇所
 確認強度() N ※屋内の場合、当該階において3箇所
 ※吊りボルトの受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
 補強方法 ※図示
 ・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合
 補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による

・天井のふとところが3.0mを超える場合
 補強方法 ※図示
 ・屋内外への耐震補強
 ・行う ※行わない
 補強箇所 ※図示
 補強方法 ※図示

・耐風圧性を考慮した補強
 ・行う(1.各章共通事項 3.品質計画による) ※行わない
 補強箇所 ※図示
 補強方法 ※図示

12 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類
 ※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類・図示
 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

13 ビニル床シート [6.8.2.3]

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
※発泡層のないもの	※FS(複層ビニル床シート)		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止※2.0 ・耐動荷重性2.5		
・発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防滑性 ・耐薬品性		

工法 ※熱溶接工法・突付け(施工箇所:)
 特殊機能
 帯電防止・帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
 又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) $10^4 \times 10 \sim 1 \times 10^5 \Omega$ 程度

14 ビニル床タイル [6.8.2]

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・F T (複層ビニル床タイル)		※無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	・帯電防止※2.0 ・防滑性	・2.5 ・3.0	
※K T (コンポジションビニル床タイル)		※無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・3.0	
※F O A (置敷きビニル床タイル)		・無地 ・柄物	※500×500	※帯電防止 ・防滑性	※4.0 以上	

特殊機能
 帯電防止・帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
 又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) $10^4 \times 10 \sim 1 \times 10^5 \Omega$ 程度

置敷形ビニル床タイル(FOA・FOB)の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする
 ・帯電防止ビニル床タイル(パネル一体タイプ)
 下記に示す製造所の商品程度とする
 ()
 ・耐熱性ビニル床タイル
 下記に示す製造所の商品程度とする
 ()

15 ビニル幅木 [6.8.2]

材質 ※軟質・硬質
 高さ(mm) ※60・75・100
 厚さ(mm) ※1.5以上

16 カーペット敷き [6.8.2]

バイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループバイル	※第一種 ・第二種		・500×500	※6.5	
・カットバイル	・第一種 ・第二種		・500×500	※6.5	帯電防止及び防汚加工品
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		・500×500	※6.5	

色柄 ※無地・柄物
 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き・模様流し
 階段部分 ※模様流し・市松敷き
 見切り、押え金物・適用する(材質、形状等 ※図示)
 ※適用しない

7 内装改修工事(続き)

17 合成樹脂塗床 [6.10.2~3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
※厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		※薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

18 フローリング張り [6.11.2~6] [表6.11.1~5]

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上げ	間伐材等の適用
・フローリングボード1等	ド釘留め工法(根太張り)	※なら	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	
	・釘留め工法(直張り)	※なら	・12以上	板幅75 板長さ500以上		
	・接着工法	※なら	・12以上	板幅75 板長さ500以上		
・フローリングボード1等	ド釘留め工法	※なら	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	

天然木化粧複合フローリング [6.11.2~6]

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
・天然木化粧複合フローリング	ド釘留め工法(根太張り)	※なら		・A種 ・B種 ※C種	・適用する ※適用しない	・塗装品 無塗装品	
	・釘留め工法(直張り)	※なら					
	・接着工法	※なら	板厚 ・8以上 板幅 ・75以上 板長さ 400以上				

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外
 接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート
 現場塗装仕上げ・行う(施工箇所:)
 ※塗装材は図示による

19 畳敷き [6.12.2]

種別・A種・B種 ※C種・D種(畳床:KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
 下地の種類 ※ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム [6.12.2])
 ・標準仕様書 表12.6.1による床組
 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、
 発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

20 セッコウボード
その他のボード張り [6.13.2、3]

種類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 [6.13.2]	HW	・15 ・20 ※25
・普通木毛セメント板 [6.13.2]	NW	・15 ・20 ※25
・けい酸カルシウム板	DR	・突付け ・目透し タイプ2(無石織) ※6・8
・ロックウール化粧吸音板		※突付け ・フラットタイプ(・9(不燃) ※12(不燃)) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃) ・19(不燃)) ※300×600 ・455×910
・セッコウボード	GB-R	※突付け(ペベルエッジ) ・継目処理(ペベルエッジ) ※12.5(不燃) ・15(不燃) ※910×2730 ・910×1820
・グラスウール吸音ボード [6.13.2]	GW-B	※25(厚手ガラスクロス包) ※留め付け材 樹脂製プラグ@300程度
・不燃積層セッコウボード	GB-NC	※突付け ※9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様) ※450×910 ・910×910
・シーリングセッコウボード	GB-S	・12.5(不燃)
・強化セッコウボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)
・化粧セッコウボード(木目)	GB-D(W)	※目透し ・12.5(不燃) 幅440mm程度 ※9.5 模様(・柱目・板目) 専用下地材有り
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による(※1.2)

セッコウボード等の下地は図示による
 遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シーリング材
 ・ジョイコンパウンド(JIS A 6914)
 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
 ※規制対象外
 合板類の張付け ※B種・A種

7 内装改修工事(続き)

21 壁紙張り [6.14.2、3]

施工箇所	壁紙の種類					防火種別	商品名(程度)
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル・プaster一面の下地調整 ※RB種
 コンクリート・ALCパネル面の下地調整 ※RB種
 セッコウボード面の下地調整 ※RB種

22 モルタル塗り [6.15.3、6]

吸水調整材は、改修標準仕様書4.2.2による
 既製目地材・設ける 施工箇所() 形状(※図示)
 ・設けない
 床の目地・設ける(工法※押し目地)
 (目地割り ※2m2程度)
 (最大目地間隔 ※3m程度)
 ・設けない

23 タイル張り [6.16.2~4]

伸縮調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと・図示)
 床タイル以外 (・図示)
 伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
 ・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
 タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	形状寸法による区分			吸水率による区分			色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考
		I類	II類	III類	無	有	無					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
 試験張り・行う ※行わない
 見本焼き・行う ※行わない
 既製調合モルタル
 モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材
 混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
 (品質・性能・試験方法)
 建築材料等品質性能表による

※接着剤による陶磁器質タイル(セラミックタイル)張り
 タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	形状寸法による区分			吸水率による区分			色	再生材	耐凍害性	耐滑り性	備考
		I類	II類	III類	無	有	無					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
 試験張り・行う ※行わない
 見本焼き・行う ※行わない

内装壁タイル接着剤に使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
 ※規制対象外

24 セルフレベリング材塗り [6.17.2、3]

種類及び品質	標準差厚(mm)	セッコウ系	セメント系
		・	・

⑦ 内装改修工事(続き)

25 フリーアクセスフロア

Table with columns: 施工箇所, 寸法(mm), 高さ(mm), 所定荷重(N), 表面仕上げ材, 備考. Includes specifications for floor access and safety measures.

26 可動間仕切

Table with columns: 構造形式による種類, 構造基材の種類, パネル表面材, 遮音性, 防火性能. Details movable partition specifications.

27 移動間仕切

Table with columns: 構造形式, 操作方法, パネル圧縮装置, パネル表面材, 遮音性. Details mobile partition specifications.

⑧ トイレブース

Table with columns: 表面材の種類, 色柄, 脚部, ドアエッジ. Details toilet booth specifications.

7 内装改修工事(続き)

29 視覚障害者用床タイル

Table with columns: 施工箇所, 種類, 寸法(mm), 厚さ(mm). Specifications for tactile paving tiles.

30 階段滑り止め

Table with columns: 材種, 形状, 材質, 取付工法, 幅(mm). Specifications for stair slip prevention.

31 床目地棒

Table with columns: 床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる. Specifications for floor joint rods.

32 手すり

Table with columns: 形式, 径, 材種, 仕上. Specifications for handrails.

33 ブラインド

Table with columns: 形式, 操作手法, 種類, スラットの材質, スラット幅, ボックス・レールの材質, 幅・高さ, 取付箇所. Specifications for blinds.

34 カーテン

Table with columns: 形式, 開閉操作, ひだの種類, 商品名(程度), 取付箇所, 備考. Specifications for curtains.

35 カーテンレール

Table with columns: 形式, 開閉操作, ひだの種類, 商品名(程度), 取付箇所, 備考. Specifications for curtain rails.

36 ブラインドボックス及びカーテンボックス

Table with columns: 溝型×深さ(mm), 材質, 表面処理, 皮膜等の種類. Specifications for blind and curtain boxes.

⑦ 内装改修工事(続き)

37 コーナービード(壁ボード出隅保護金物)

Table with columns: 材質, 施工箇所. Specifications for corner beads.

38 天井見切縁

Table with columns: 材質, 施工箇所. Specifications for ceiling trim.

⑨ 天井点検口

Table with columns: 材種, 寸法, 形式, 外枠, 内枠. Specifications for ceiling access panels.

40 床点検口

Table with columns: 材種, 寸法, 形式, 備考. Specifications for floor access panels.

41 仕上塗材仕上げ

Table with columns: 種類, 呼び名, 防火材料, 仕上げの形状等. Specifications for finishing coatings.

⑧ 塗装改修工事

① 材料

Table with columns: 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量. Specifications for paint materials.

② 下地調整

Table with columns: 下地の種類, 下地調整の種別, ひび割れ部の補修. Specifications for substrate adjustment.

3 錆止め塗料塗り

Table with columns: 錆止め塗料塗りの種別, 塗装面, 塗料, 工程. Specifications for rust prevention coating.

8 塗装改修工事 (続き)

Table with columns for '塗装の種類' (Type of Coating), '塗装' (Coating), and '工程' (Process). It lists various coating types like '合成樹脂調合ペイント' and '耐候性塗料' with their corresponding process codes.

5 フッ素樹脂塗装

打放しコンクリート面保護工法 (下塗材) 水性 浸透性吸水防止材 (上塗材) 水性フッ素樹脂クリヤー

6 焼付塗装

Table with columns for '素材' (Material), '焼付種別' (Baking Type), '仕上げ' (Finish), 'コート' (Coat), 'ベーク' (Bake), and '部位' (Part). It lists materials like 'アルミニウム' and 'ステンレス' with their respective baking methods.

9 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の除去工事

表示形態の変更

Construction details for asbestos removal, including '施工調査' (Construction Survey), '分析による石綿含有建材の調査' (Survey of asbestos-containing building materials by analysis), and a table for '測定名称' (Measurement Name) and '測定場所' (Measurement Location).

Table for '測定名称' (Measurement Name) and '測定場所' (Measurement Location) for asbestos removal, detailing measurement points like '処理作業前' (Before treatment) and '撤去後1週間以降' (After removal, 1 week later).

自動測定機による測定 (Automatic measurement by automatic measuring machine) with details on measurement methods and equipment used.

石綿含有吹付材の処理 (Treatment of asbestos-containing sprayed materials), including removal methods and disposal procedures for various types of asbestos-containing materials.

9 環境配慮改修工事 (続き)

2 煙突用ライニング材撤去 (高圧洗浄除去工法)

煙突用ライニング材撤去 (Chimney lining material removal) details, including '処理を行う石綿含有保温材等の仕様等' (Specifications of asbestos-containing insulation materials to be treated) and '撤去後の撤去面の調査' (Survey of the removal surface after removal).

3 外断熱改修工事

外断熱改修工事 (External insulation renovation) details, including '断熱材の種類' (Types of insulation materials) and '断熱材の厚さ' (Thickness of insulation materials).

4 断熱・防露改修工事

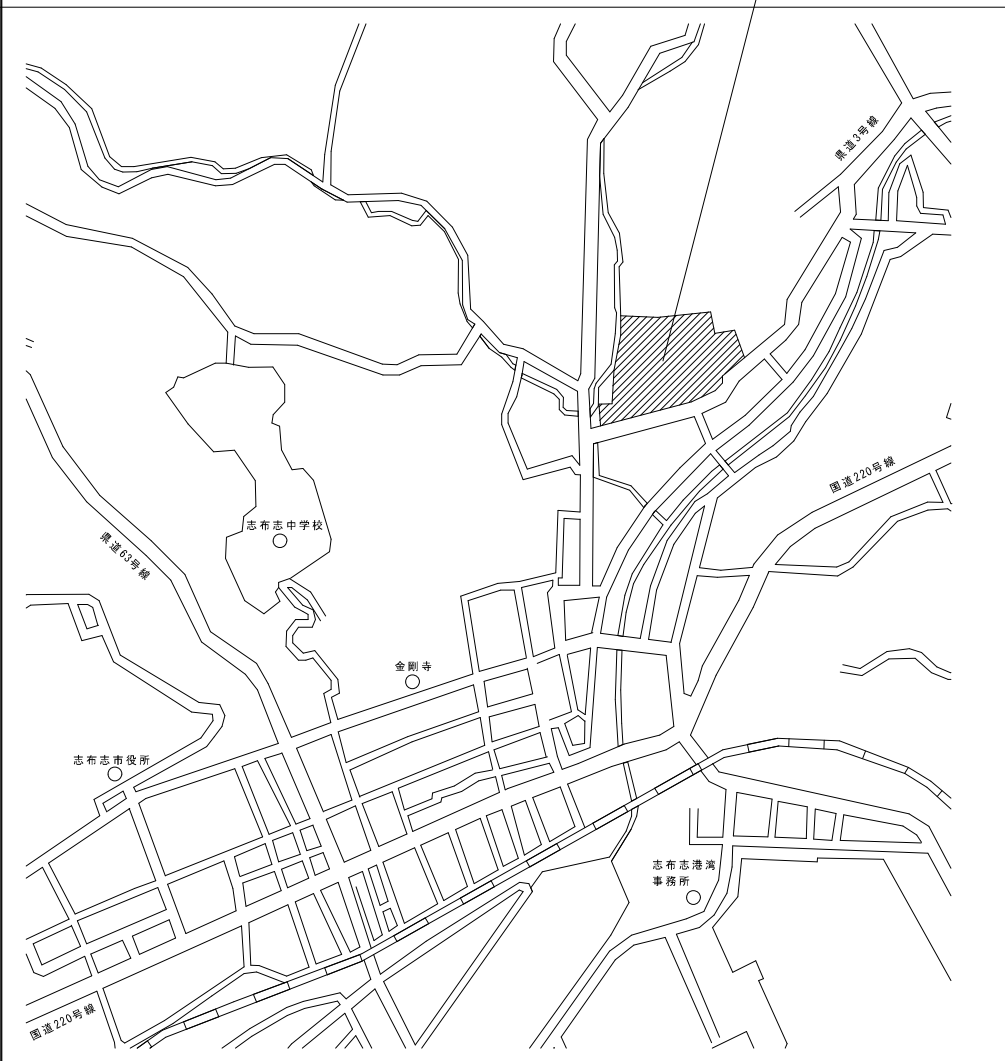
断熱・防露改修工事 (Insulation and condensation prevention renovation) details, including 'フェノールフォーム断熱材' (Phenol foam insulation) and '断熱材打ち込み工法' (Insulation material filling method).

5 屋上緑化改修工事

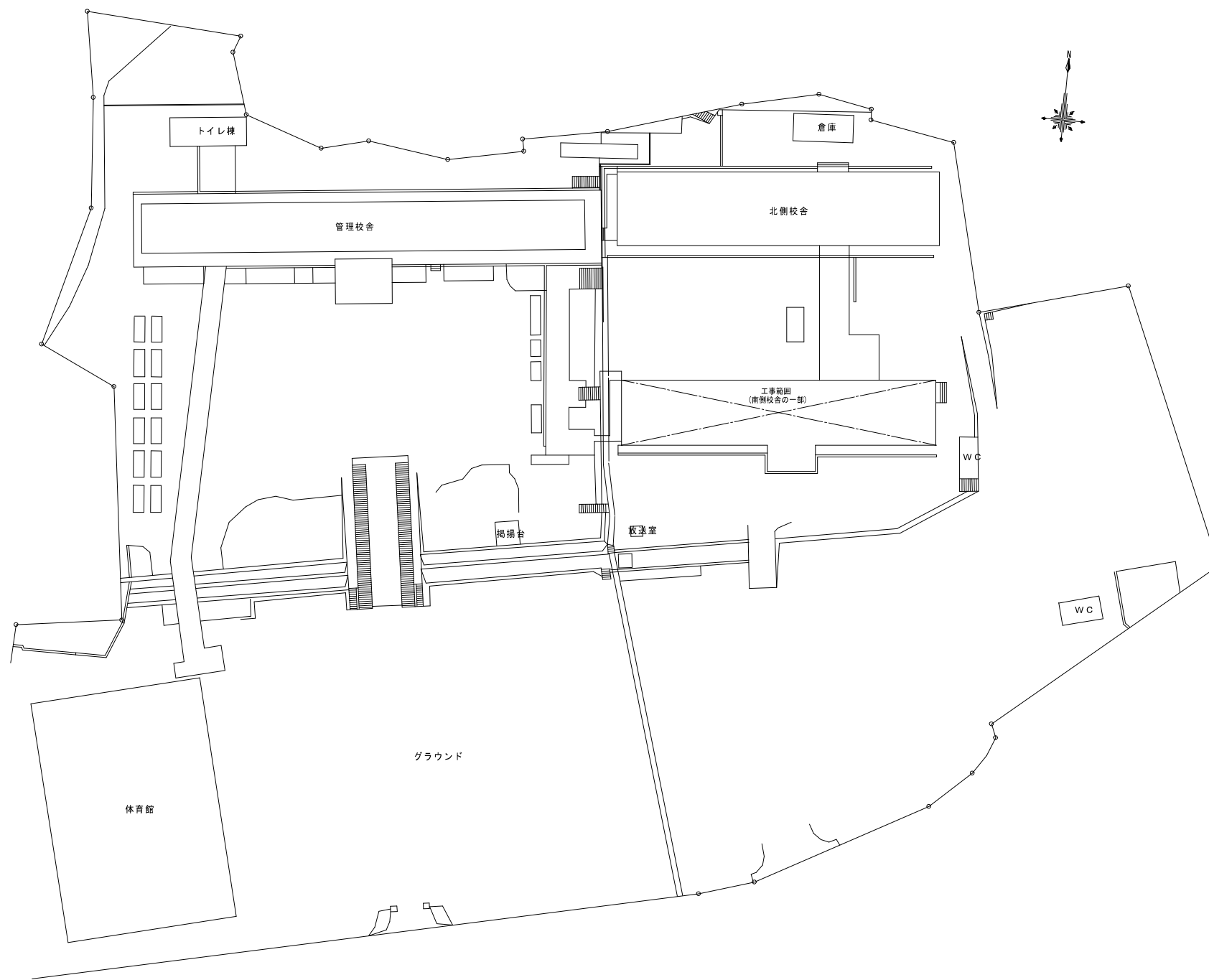
屋上緑化改修工事 (Rooftop greening renovation) details, including '植栽基盤及び材料' (Planting base and materials) and '屋上緑化軽量システム' (Lightweight rooftop greening system).



工事場所
志布志小学校
鹿児島県志布志市志布志町帖6390-3



付近見取図 NO SCALE



配置図・仮設計画図 S=1/400

設計概要

Table with columns for building owner, location, purpose, and construction details.

改修工事概要

Table detailing exterior and interior renovation work, including waterproofing and structural updates.

Table detailing interior renovation work, including floor replacement, wall treatments, and furniture updates.

Table detailing interior renovation work, including ceiling treatments, window treatments, and floor treatments.

外部仕上表

Table showing exterior finishing details for various parts of the building, including woodwork, walls, roof, and ground level.

内部仕上表

Table showing interior finishing details for rooms, including floor, walls, ceiling, and fixtures.

凡例

Table of abbreviations and material specifications for construction materials.

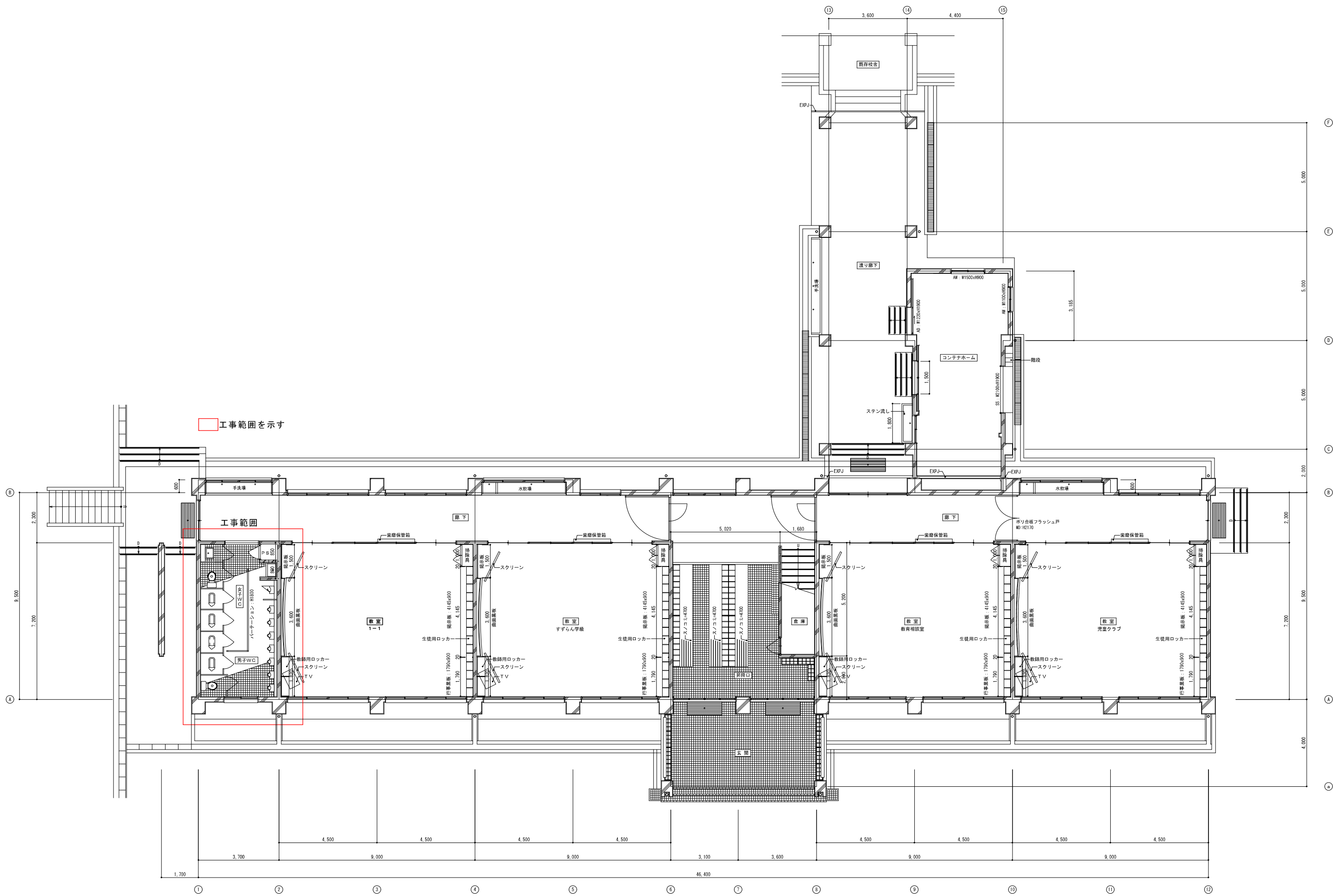
不燃材料等一覧表

Table listing non-combustible materials and their specifications.

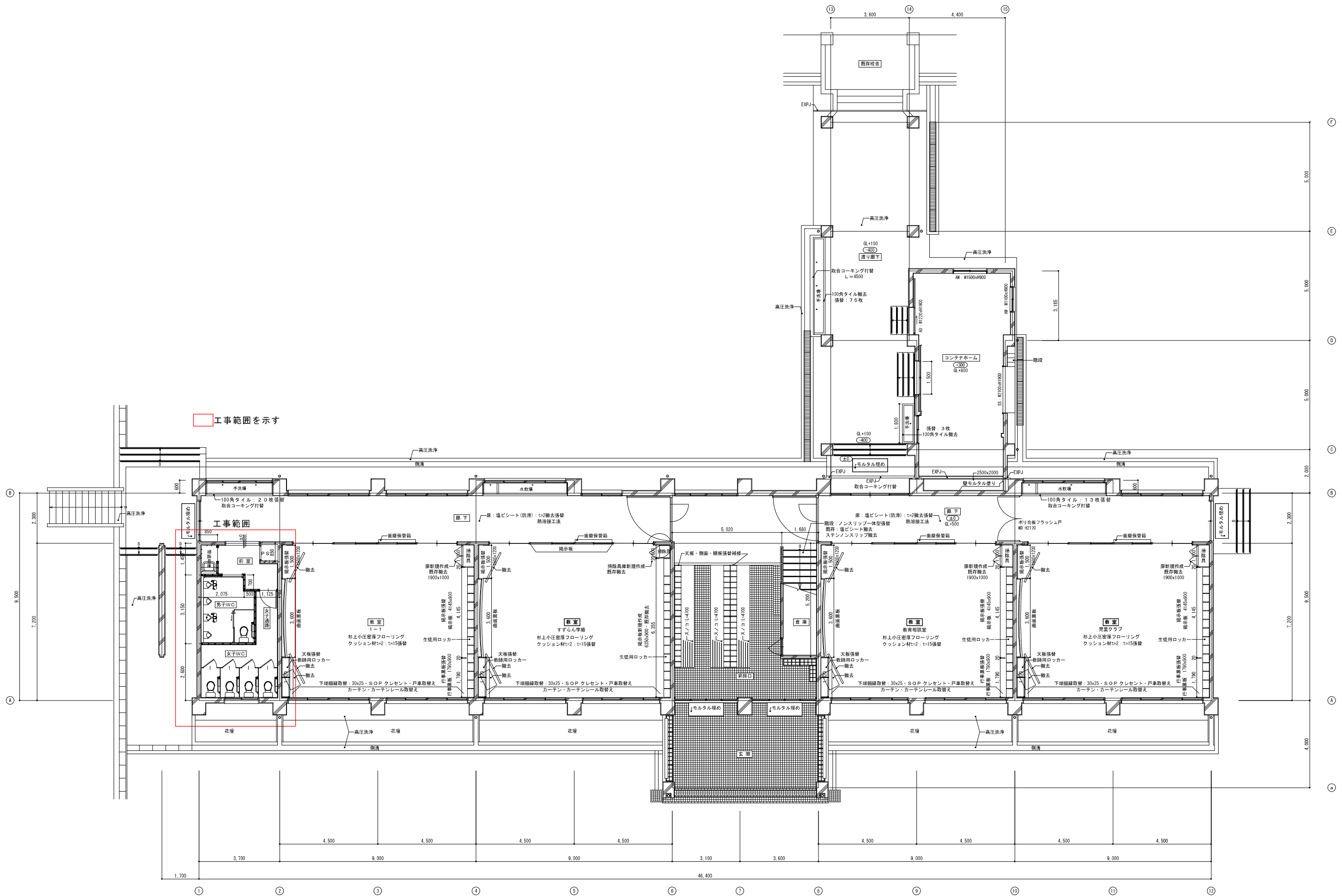
提出書類等

Table listing required documents and their submission dates.

Table listing construction progress and completion dates for various tasks.

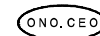


既存 1階平面図



改修 1階平面図

特記事項

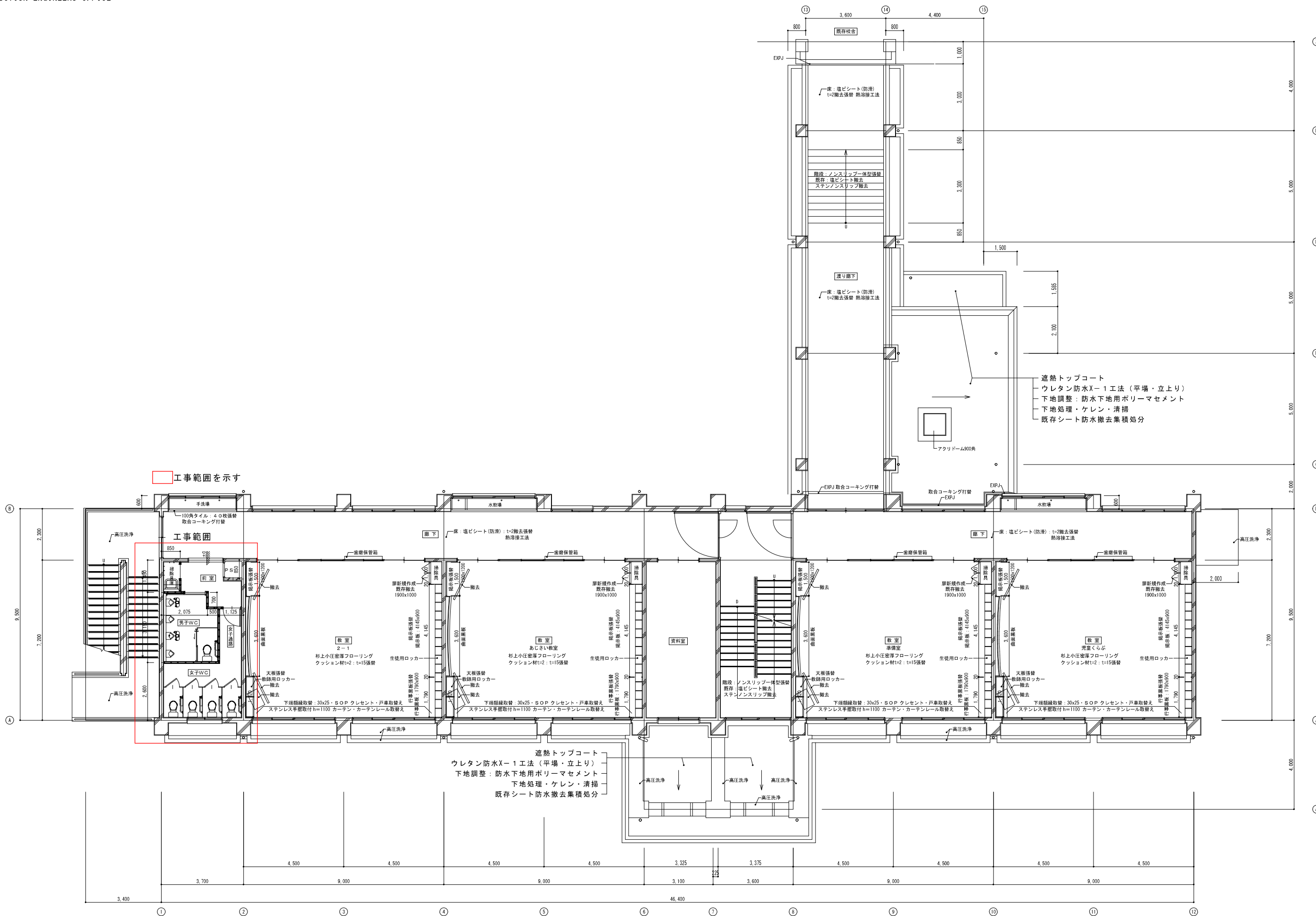


ONO CONSTRUCTION ENGINEERS OFFICE
 有限会社 小野設計
 鹿児島県鹿児島市大崎町永吉6657 志布志市志布志町志布志2-10-10
 TEL. 099-472-3298 FAX 099-476-2051 TEL. 099-472-6700 FAX 099-472-5201

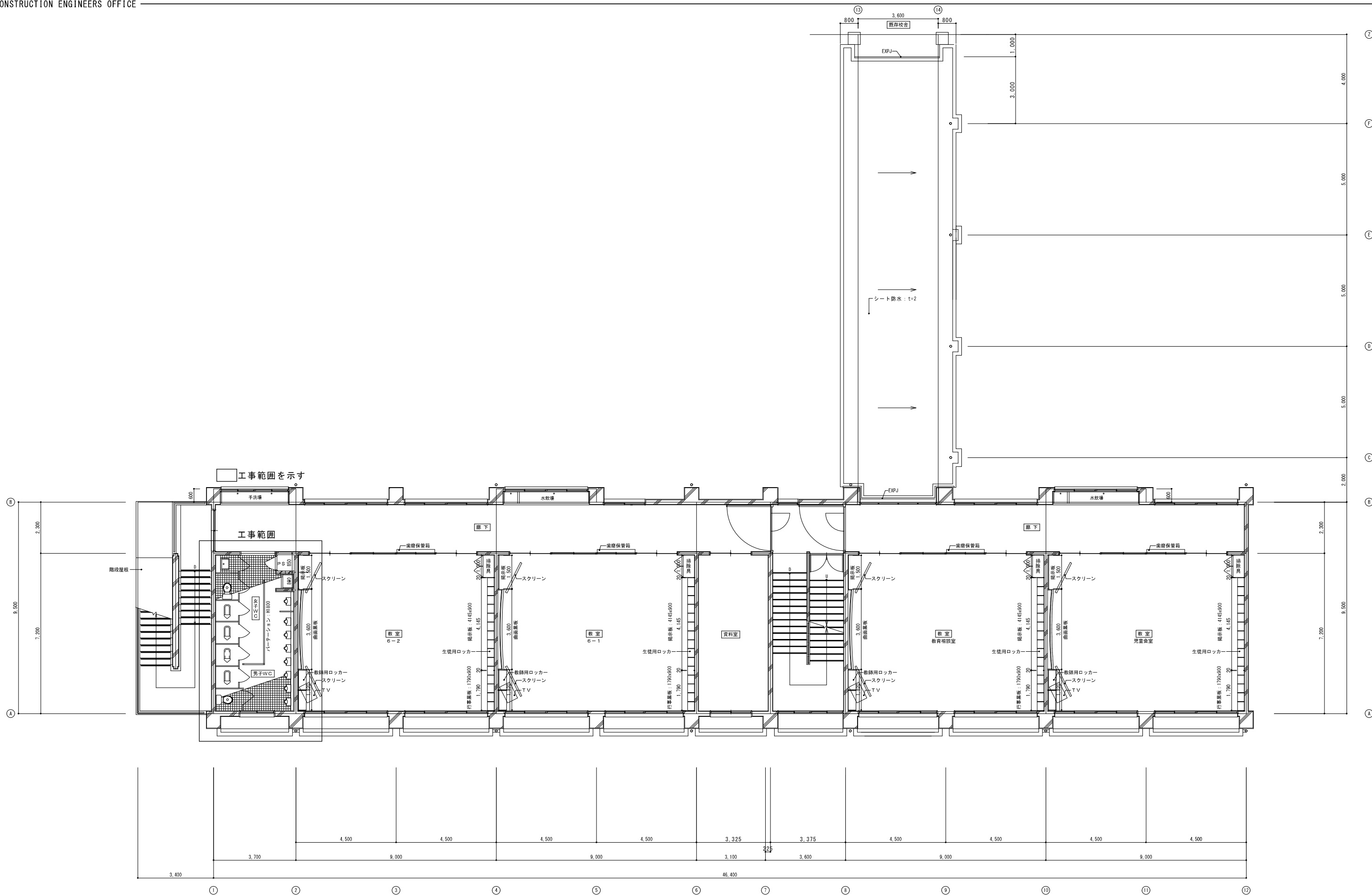
1級建築士事務所
 鹿児島県知事登録 第1-3-15号
 1級建築士大臣登録
 第193464号 小野孝輔

APPROVED CHECKED DRAWN PROJECT No. PROJECT
 2024-05 志布志小学校南側校舎老朽化改修工事
 DATE TITLE
 2024/09 改修1階平面図

TRADE No. 建築 1/80 A-21



改修 2階平面図



既存 3 階平面図

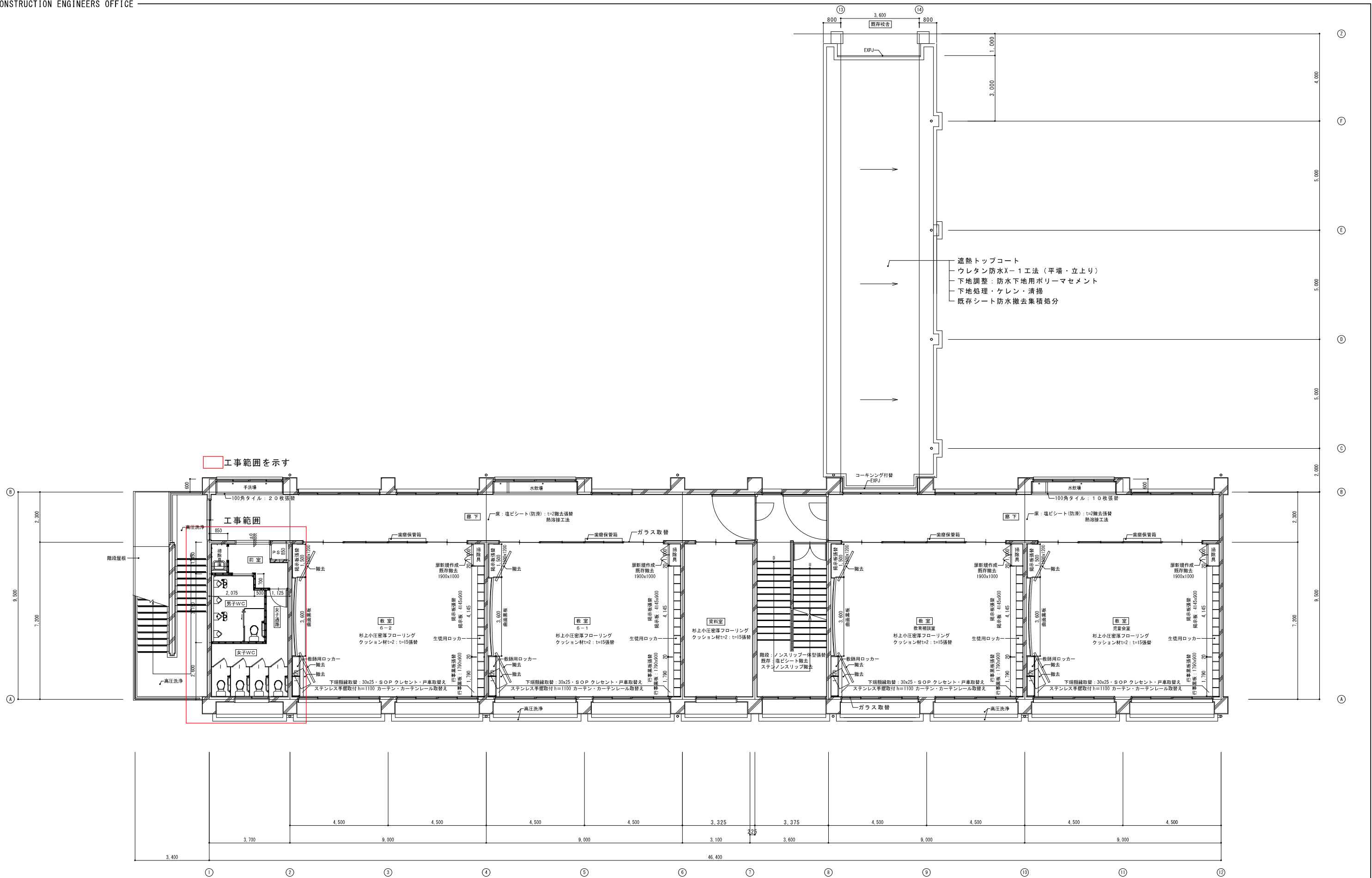
特記事項

ONO CONSTRUCTION ENGINEERS OFFICE
 ONO.CEO 有限 小野設計
 鹿児島県鹿児島市大崎町赤吉6657 志布志市志布志町志布志2-10-10
 TEL 099-476-3298 FAX 099-476-2051 TEL 099-472-6700 FAX 099-472-5201

1級建築士事務所
 鹿児島県知事登録 第1-3-15号
 1級建築士大臣登録
 第193464号 小野孝輔

APPROVED CHECKED DRAWN PROJECT No. PROJECT
 2024-05 志布志小学校南側校舎老朽化改修工事
 DATE TITLE
 2024/09 既存3階平面図

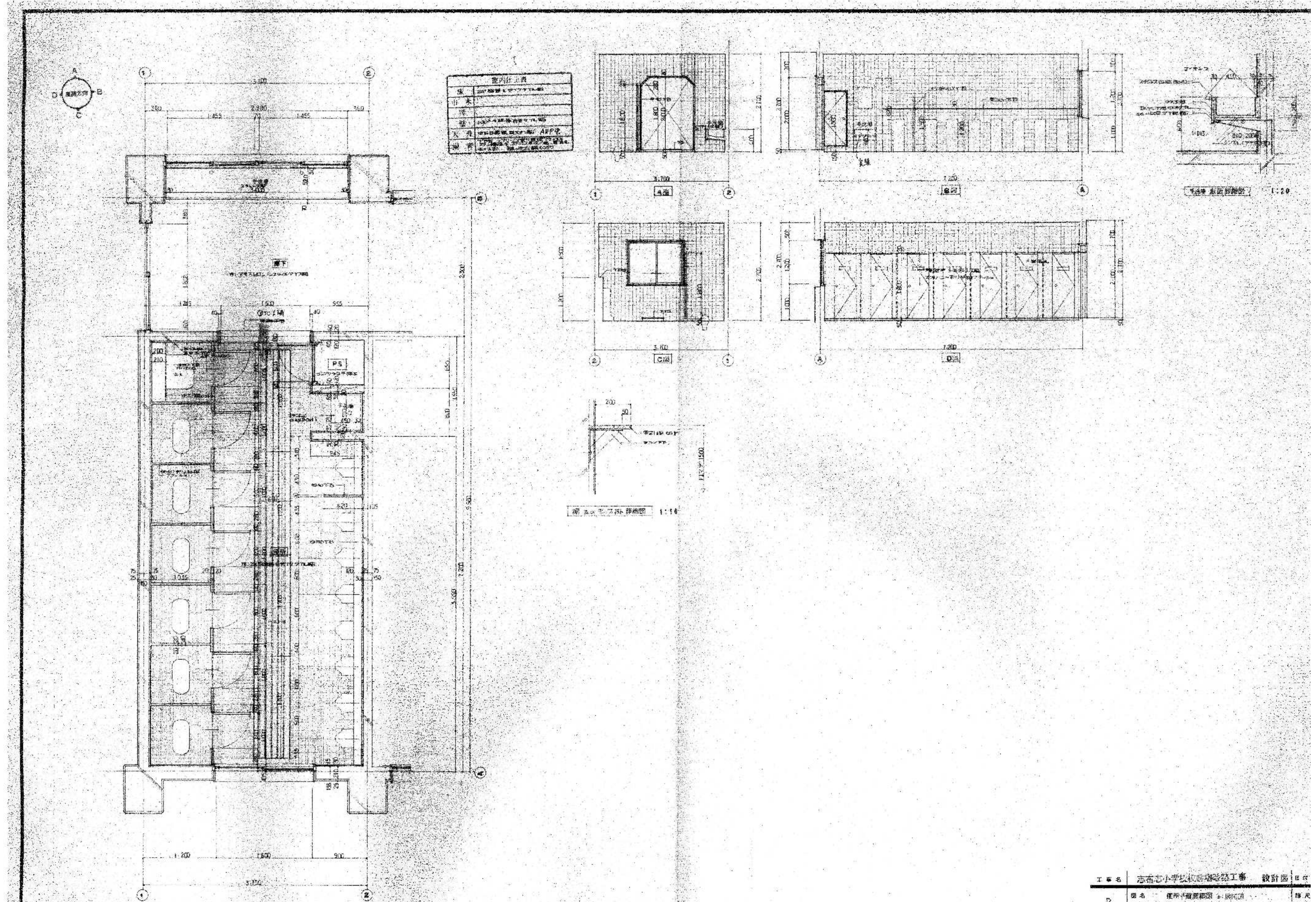
TRADE No.
 建築
 SCALE
 1/80
 A-24



遮熱トップコート
 ウレタン防水X-1工法(平場・立上り)
 下地調整: 防水下地用ポリマセメント
 下地処理: ケレン・清掃
 既存シート防水撤去集積処分

工事範囲を示す

改修 3階平面図



工名 志布志小学校南側校舎老朽化改修工事 設計図 1/20
 図名 トイレ平面詳細図・展開図 縮尺

トイレ仕上表

床	モザイクタイル・25角
腰・壁	100角タイル
天井	石綿版日透かし張：t=5・AEP OH=2750 LGS下地
備考	トイレブース：ポリ合板フラッシュ 木製棚板・モップ掛け・面台：TB・t=30

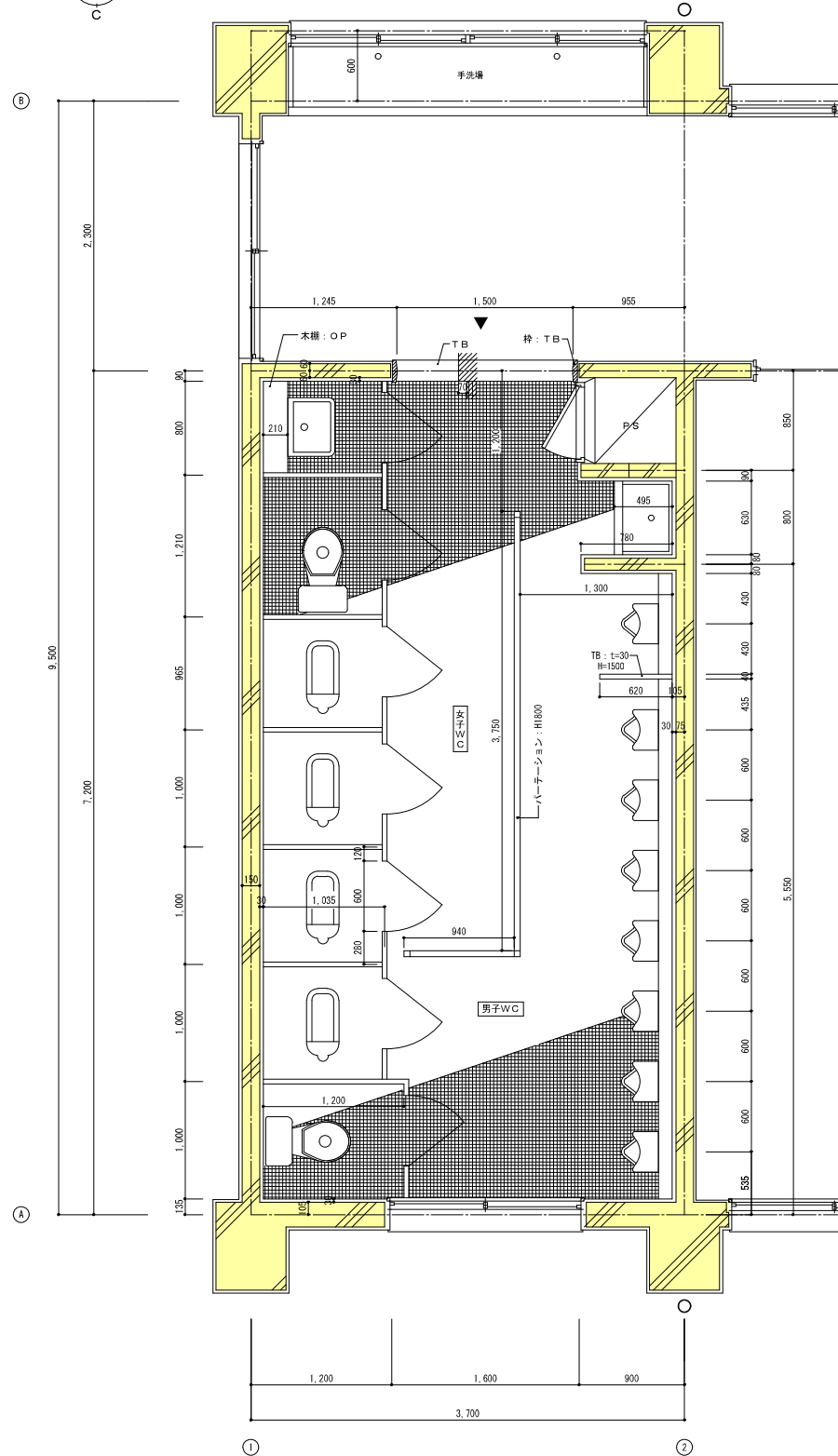
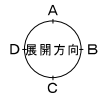
掃除員庫

床	モルタル金ゴテ
腰・壁	耐水PB：t=12.5 継ぎ目はコーキング処理 既存タイルのまま 浮き・欠損部補修 LGS間仕切：W65
天井	ケイカル板 T=5 EP-G塗装 OH=2700 LGS下地 既存はLGS共撤去 LGS下地は天井まで
備考	面台：人造大理石：t=20 木製棚：t=25・D=300 モップ掛け：ステンレスフック・5ヶ所

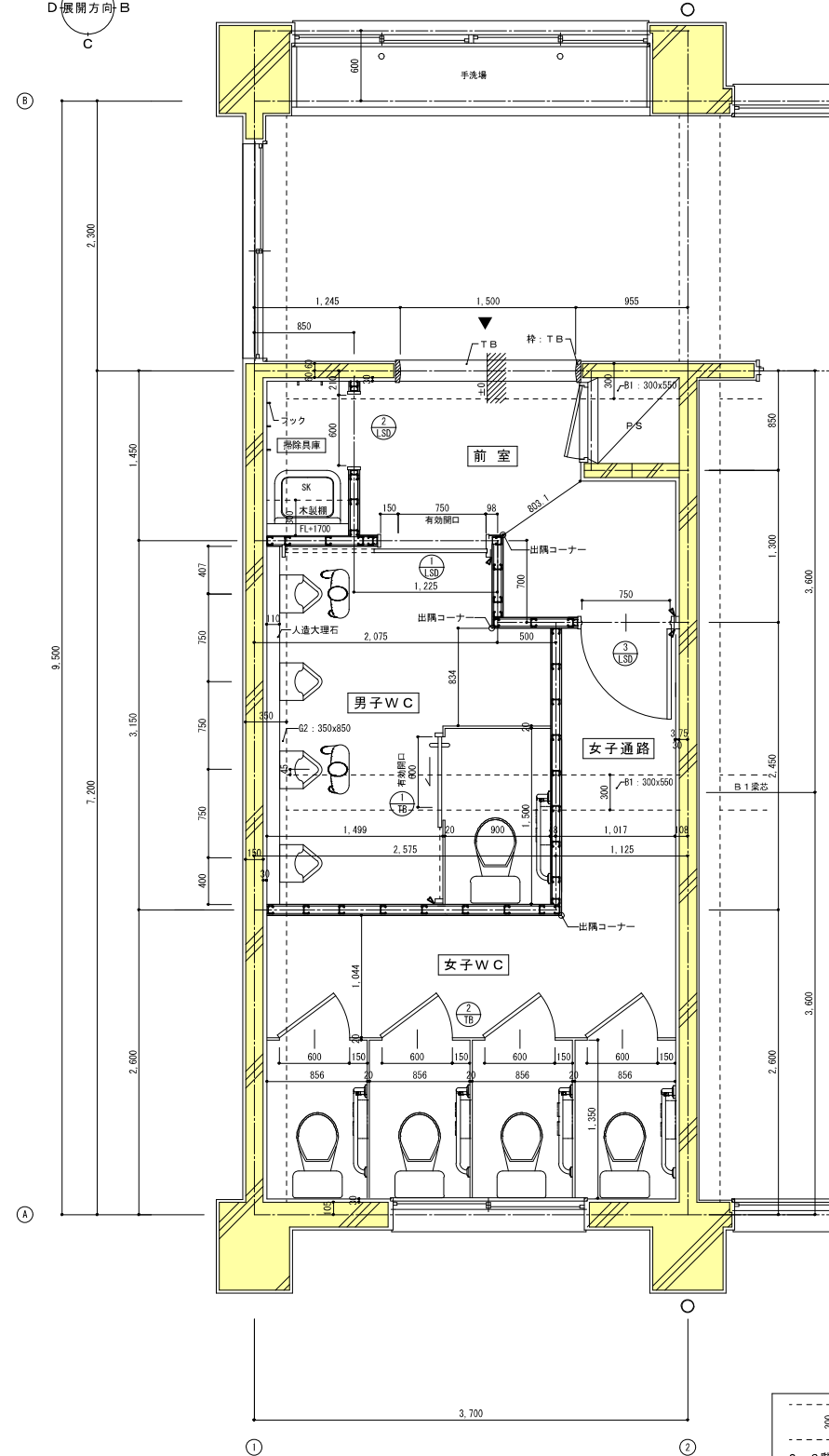
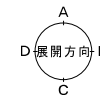
トイレ仕上表

床	長尺塩ビシート：t=2.0 特殊防滑性・耐水工法・抗菌仕様・モルタル金ゴテ
腰・壁	既存タイルのまま 浮き・欠損部補修 ケイカル板張：t=6 EP-G塗装・耐水PB：t=12.5下地 継ぎ目はコーキング処理 LGS間仕切：W65・グラスウール：t=50・2.4kg/m ³ 出隅用アルミジョイナー・3ヶ所
天井	ケイカル板 T=5 EP-G塗装 OH=2700 LGS下地 既存はLGS共撤去 LGS下地は天井まで
備考	トイレブース：面台：人造大理石：t=20 手摺取付部は下地補強の事 女子トイレ：扉戸棚・ポリ合板フラッシュ：980x700x300 掃除員庫：モップ掛け：ステンレスフック・5ヶ所・木製棚：W300

床仕上
既存床高さを廊下と同レベルとする
コンクリート金ゴテ下地



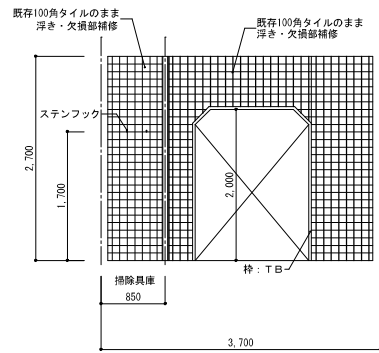
既存 トイレ平面図



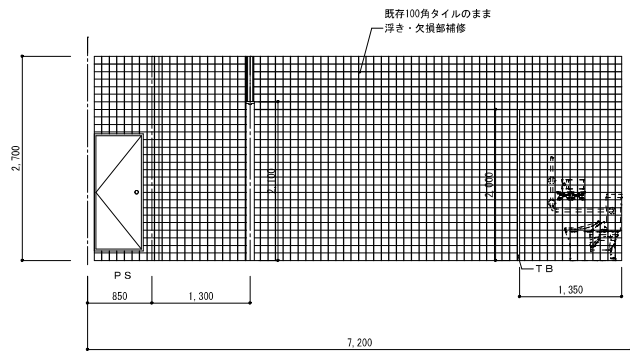
改修 トイレ平面図

特記事項

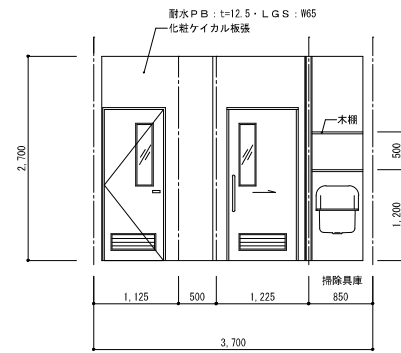
前室 女子通路



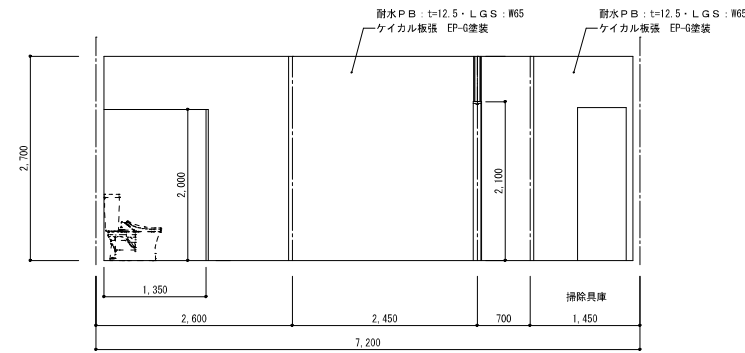
A 面



B 面

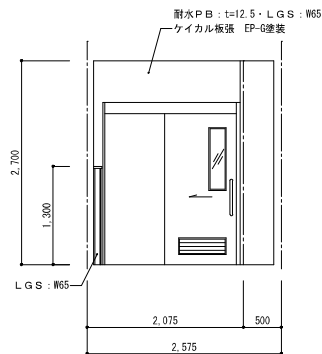


C 面

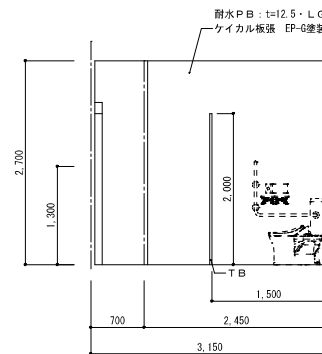


D 面

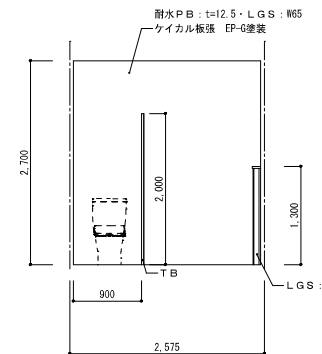
男子トイレ



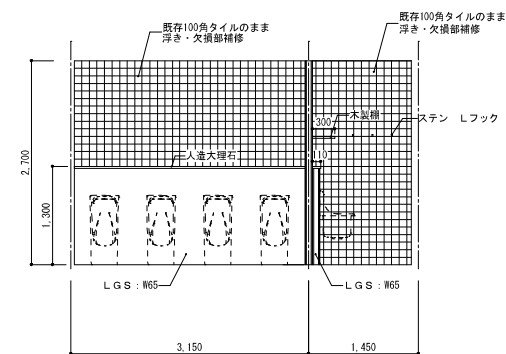
A 面



B 面

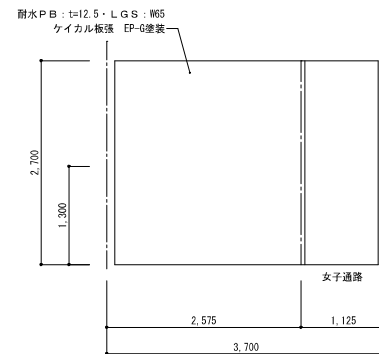


C 面

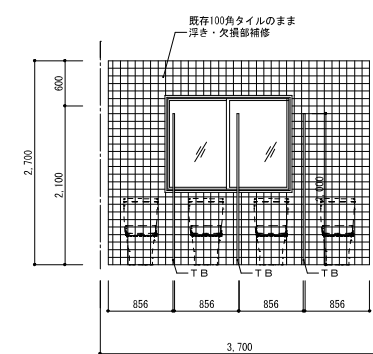


D 面

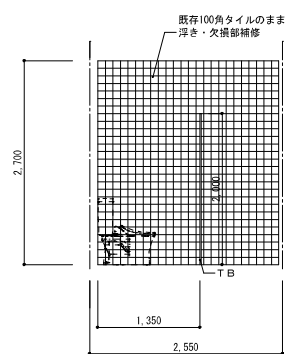
女子トイレ



A 面



C 面

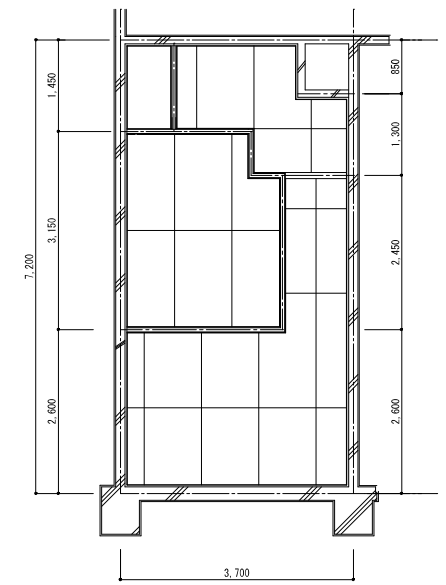


D 面

S=1/50

符号	① LSD	3ヶ所	② LSD	3ヶ所	③ LSD	3ヶ所	① TB	3ヶ所	② TB	3ヶ所
図	1. 2. 3階 男子WC		1. 2. 3階 掃除具庫		1. 2. 3階 女子通路		1. 2. 3階 男子WC		1. 2. 3階 女子WC	
形式	軽鋼製自閉装置付引戸		軽鋼製片開き戸		軽鋼製片開き戸		トイレブース ハンガー引戸		トイレブース	
見込	三方枠戸袋なしタイプ		115		115		20		20	
材質仕上	扉: 木目鋼板t=0.5 枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 焼付塗装		扉: 木目鋼板t=0.5 枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 焼付塗装		扉: 木目鋼板t=0.5 枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 焼付塗装		高圧メラミン化粧合板		高圧メラミン化粧合板	
硝子	強化型ガラス: t=4						ステンレスドアハンドル 内掛錠(非常時開放付き)		ステンレススライドラッチ(非常時開放付き)	
金物	ステンレス製引手 指詰め防止ゴム・小窓・ガラリ SUS音ざり		レバーハンドル 戸当 指詰め防止ゴム・ガラリ SUS音ざり		レバーハンドル 戸当 指詰め防止ゴム・ガラリ SUS音ざり		ステンレス巾木・アルミ笠木 ステンレス帽子掛け		ステンレス巾木・アルミ笠木 手摺取付部は下地補強の事 ステンレス帽子掛け	

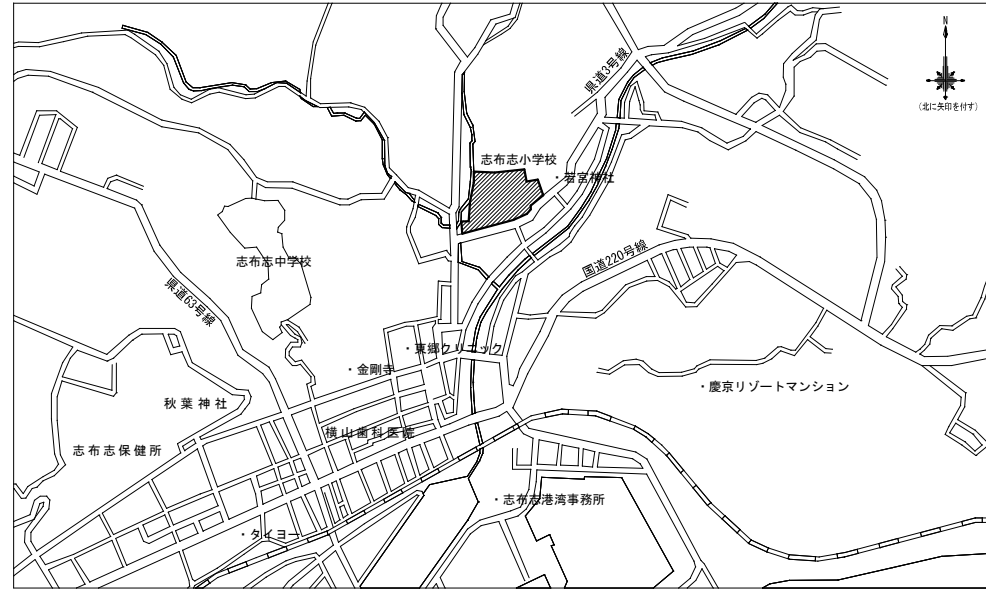
天井: ケイカル板 T=5 EP-G塗装
LGS下地 (既存天井は撤去とする)



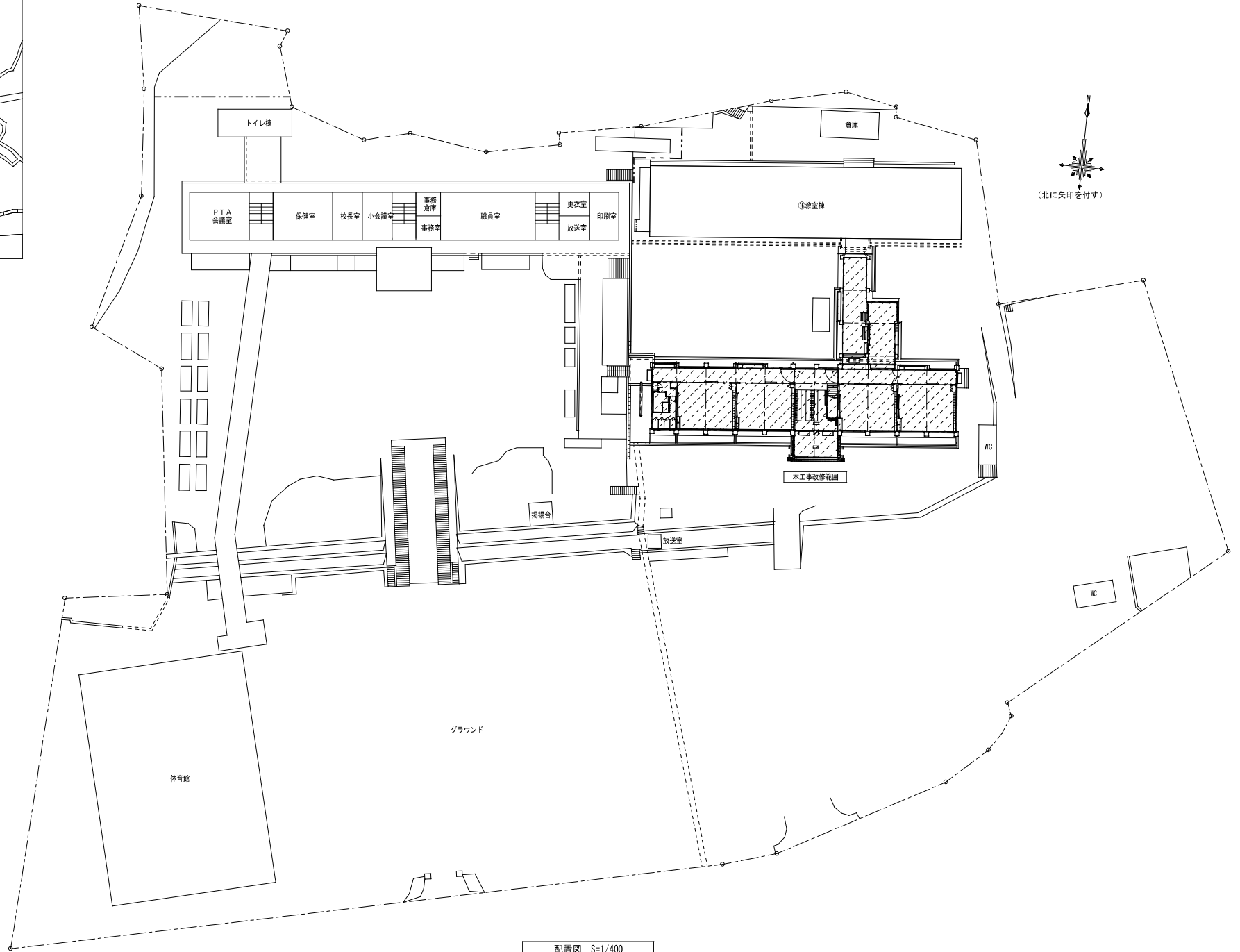
改修 トイレ天井伏図

S=1/60

特記事項



付近見取り図 S=No Scale

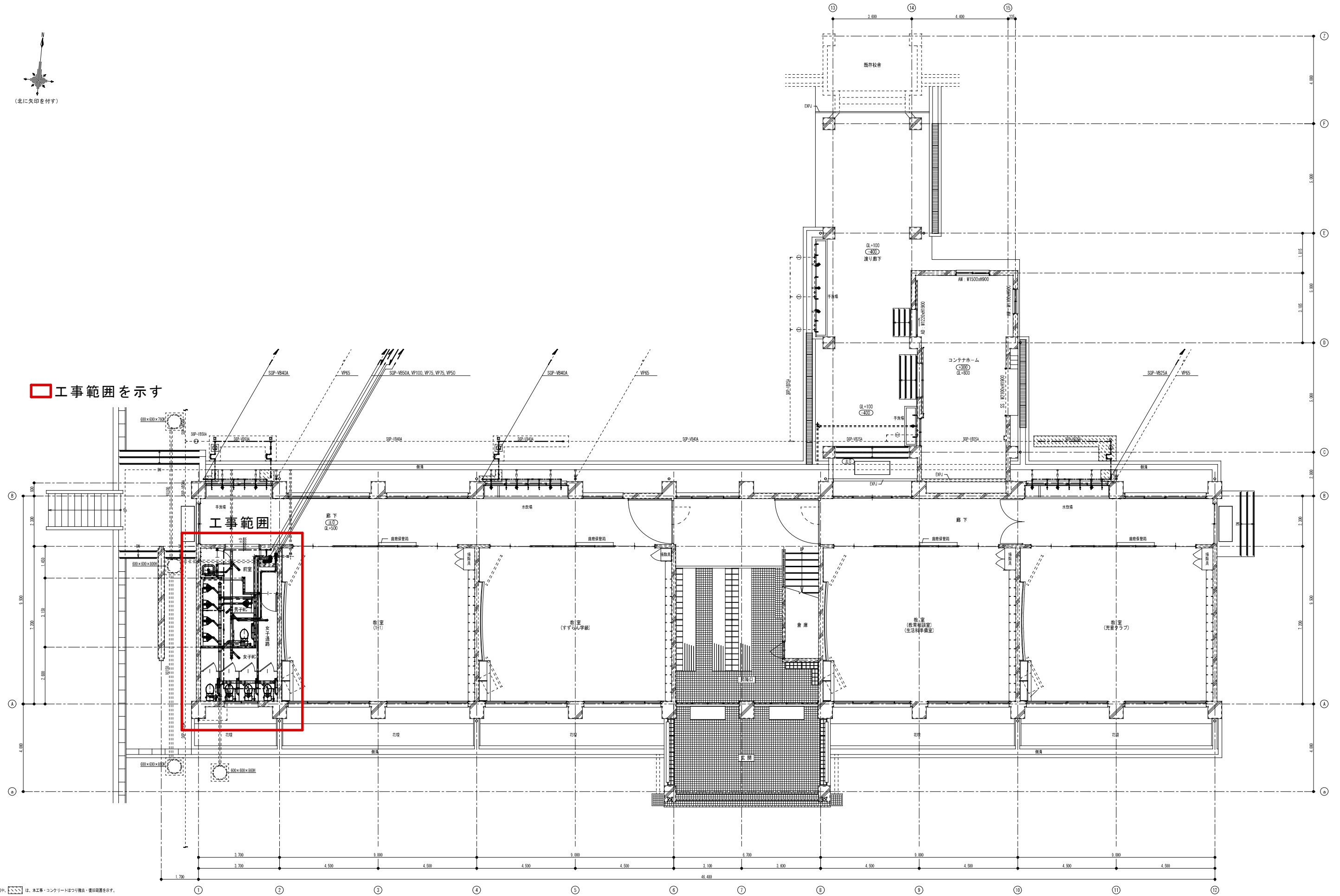


配置図 S=1/400

※図中 部分は今回工事範囲を示す。



■ 工事範囲を示す

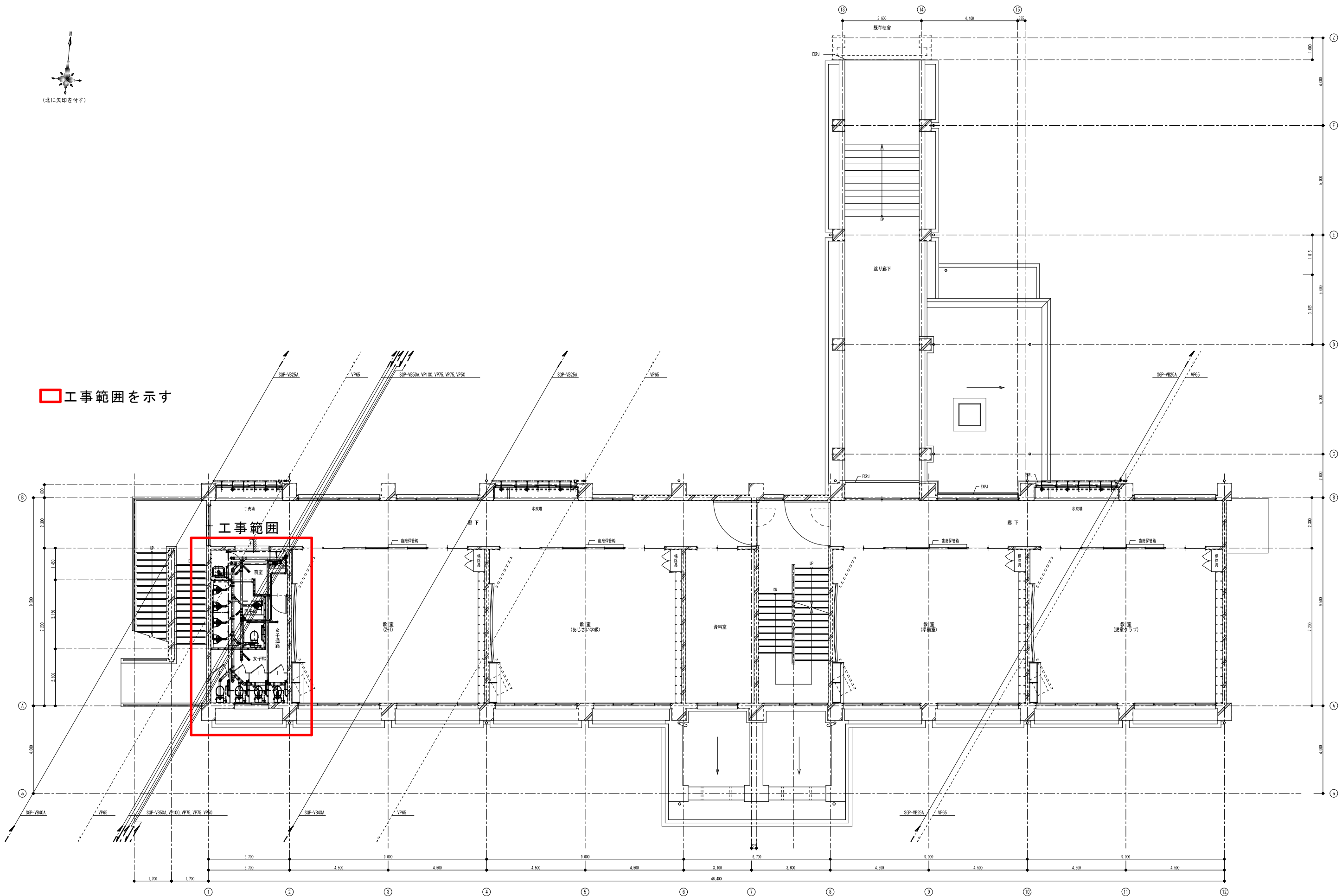


- ※ 図中、 は、本工程・コンクリートはつり構造・旧田面を示す。
- ※ 図中、太線は改修範囲及び配管を示す。
- ※ 図中、点線は既存設備及び配管を示す。
- ※ 給水用弁は、コア付とする。

給排水衛生設備 1階平面図 (改修後) S=1/80



工事範囲を示す

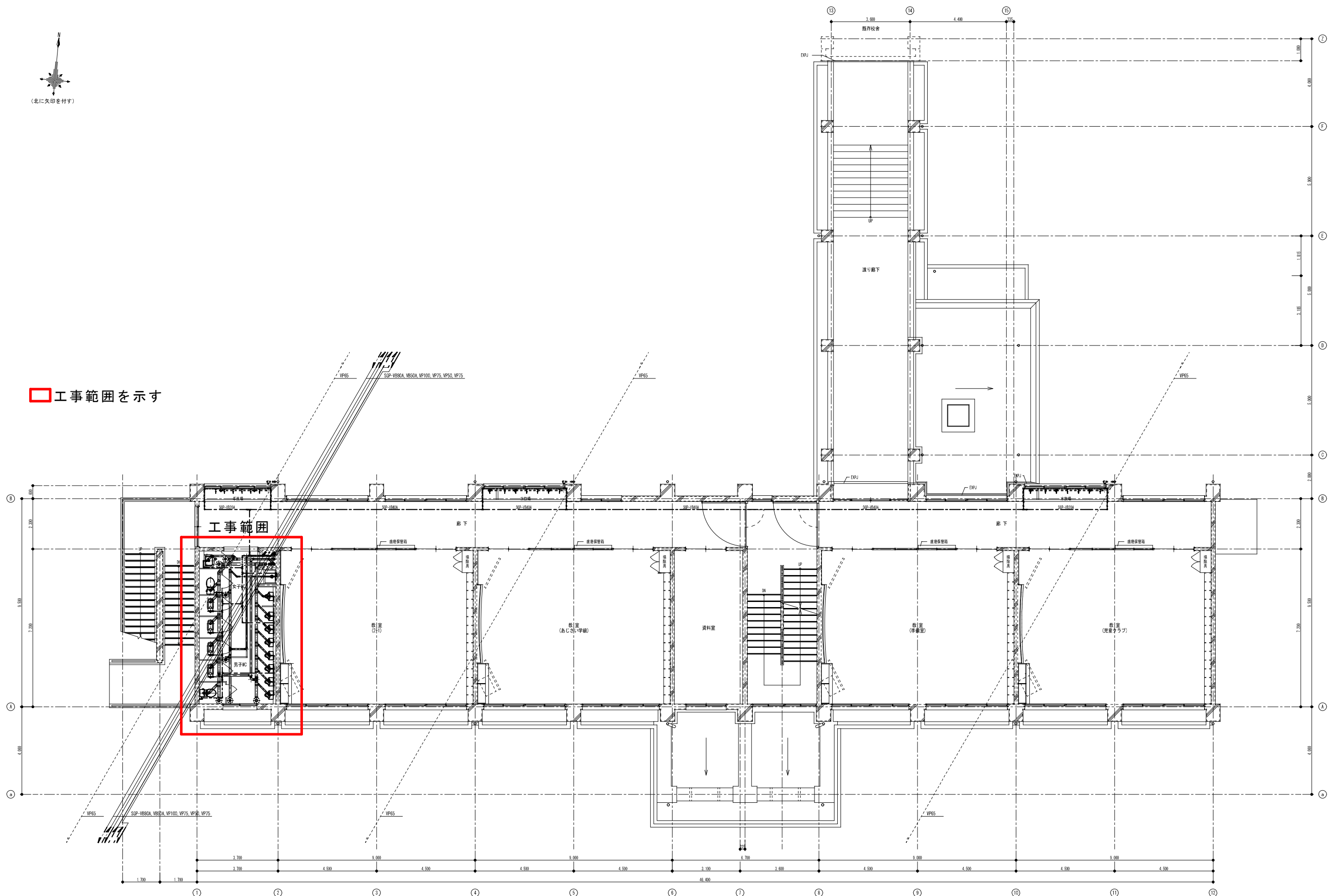


※ 図中、太線は改修範囲及び配管を示す。
※ 図中、点線は既存設備及び配管を示す。
※ 給水用弁は、コア付とする。

給排水衛生設備 2階平面図(改修後) S=1/80



□ 工事範囲を示す

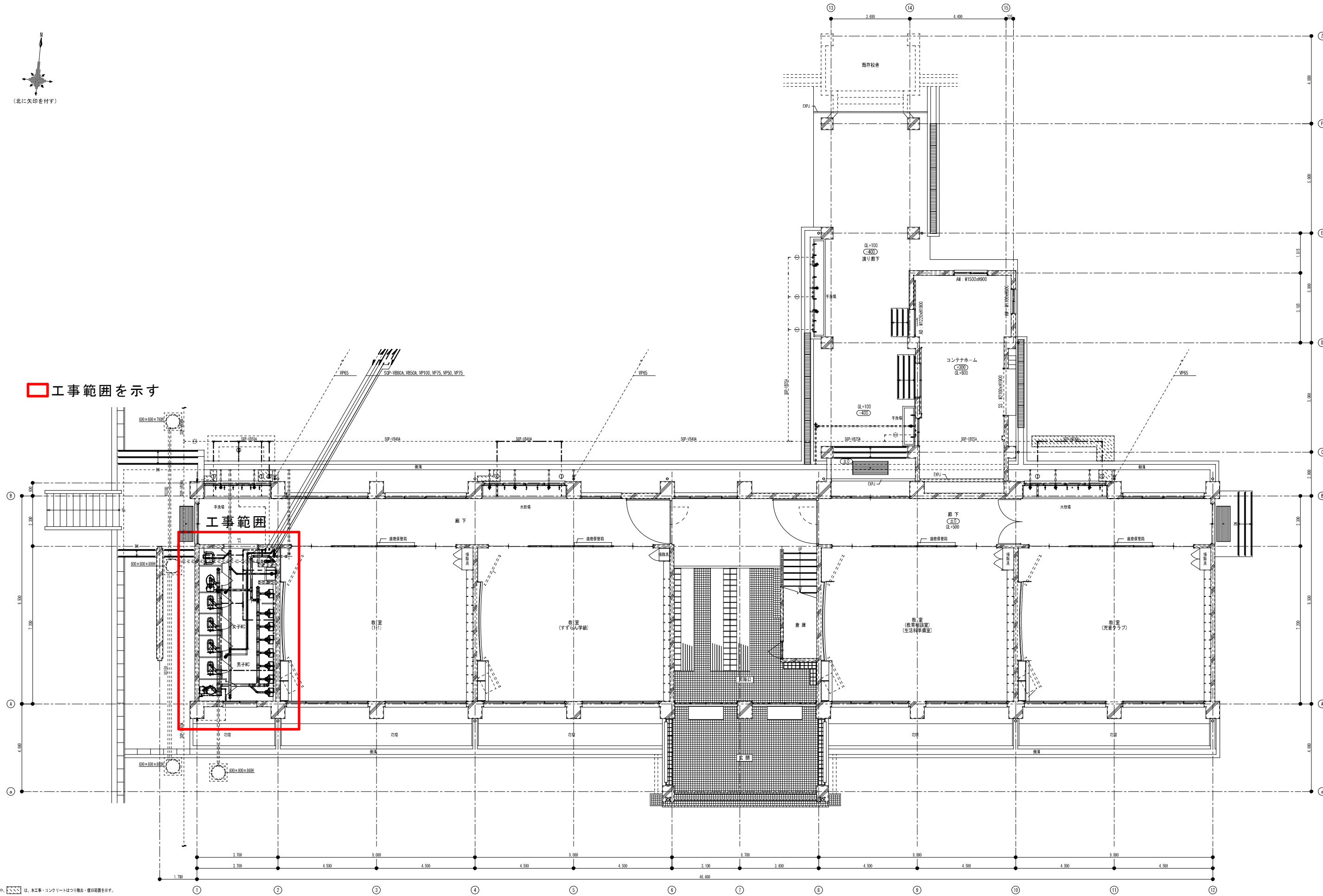


※ 図中、太線は除去器具及び配管を示す。
※ 図中、点線は設置器具及び配管を示す。

給排水衛生設備 2階平面図(改修前) S=1/80



工事範囲を示す

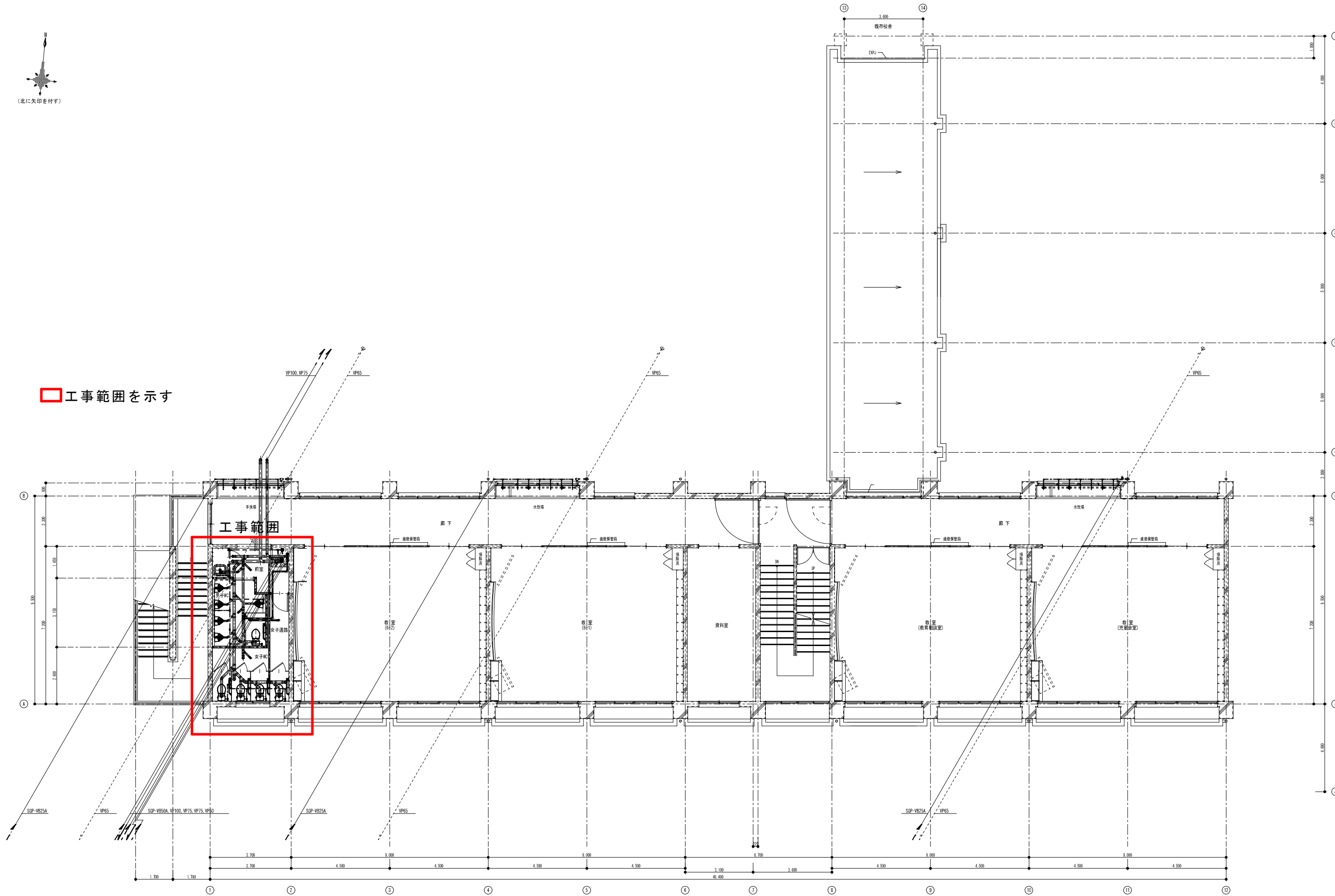


※ 図中、 は、本工程・コンクリートはつり構造・旧田面を示す。
※ 図中、太線は除去管及び配管を示す。
※ 図中、点線は機器器具及び配管を示す。

給排水衛生設備 1階平面図(改修前) S=1/80



工事範囲を示す

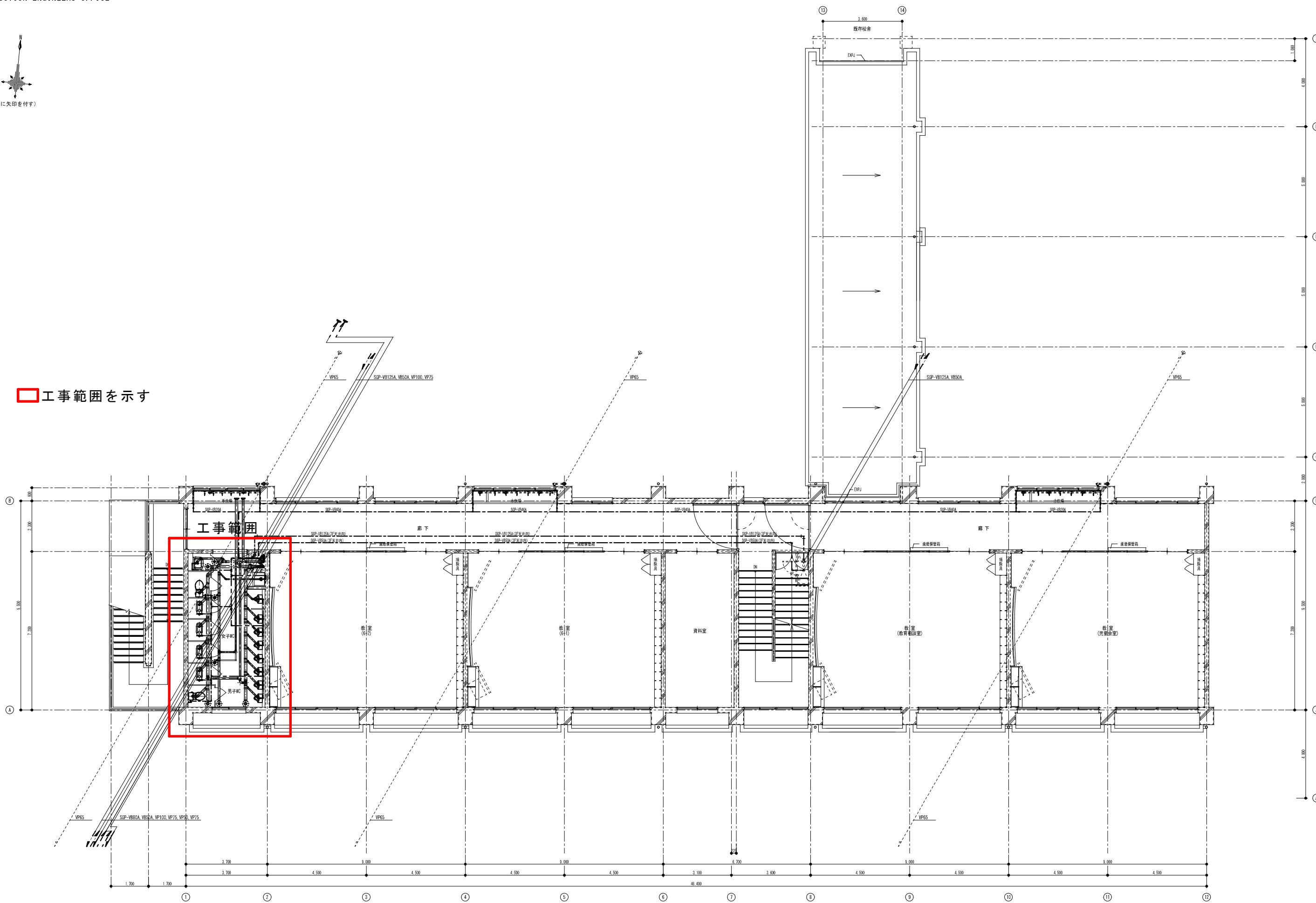


※ 図中、太線は改修箇所及び配管を示す。
※ 図中、白線は既存器具及び配管を示す。
※ 給水用弁は、コア付とする。

給排水衛生設備 3階平面図(改修後) S=1/80



工事範囲を示す



※ 図中、太線は除去器具及び配管を示す。
※ 図中、点線は設置器具及び配管を示す。

給排水衛生設備 3階平面図(改修前) S=1/80

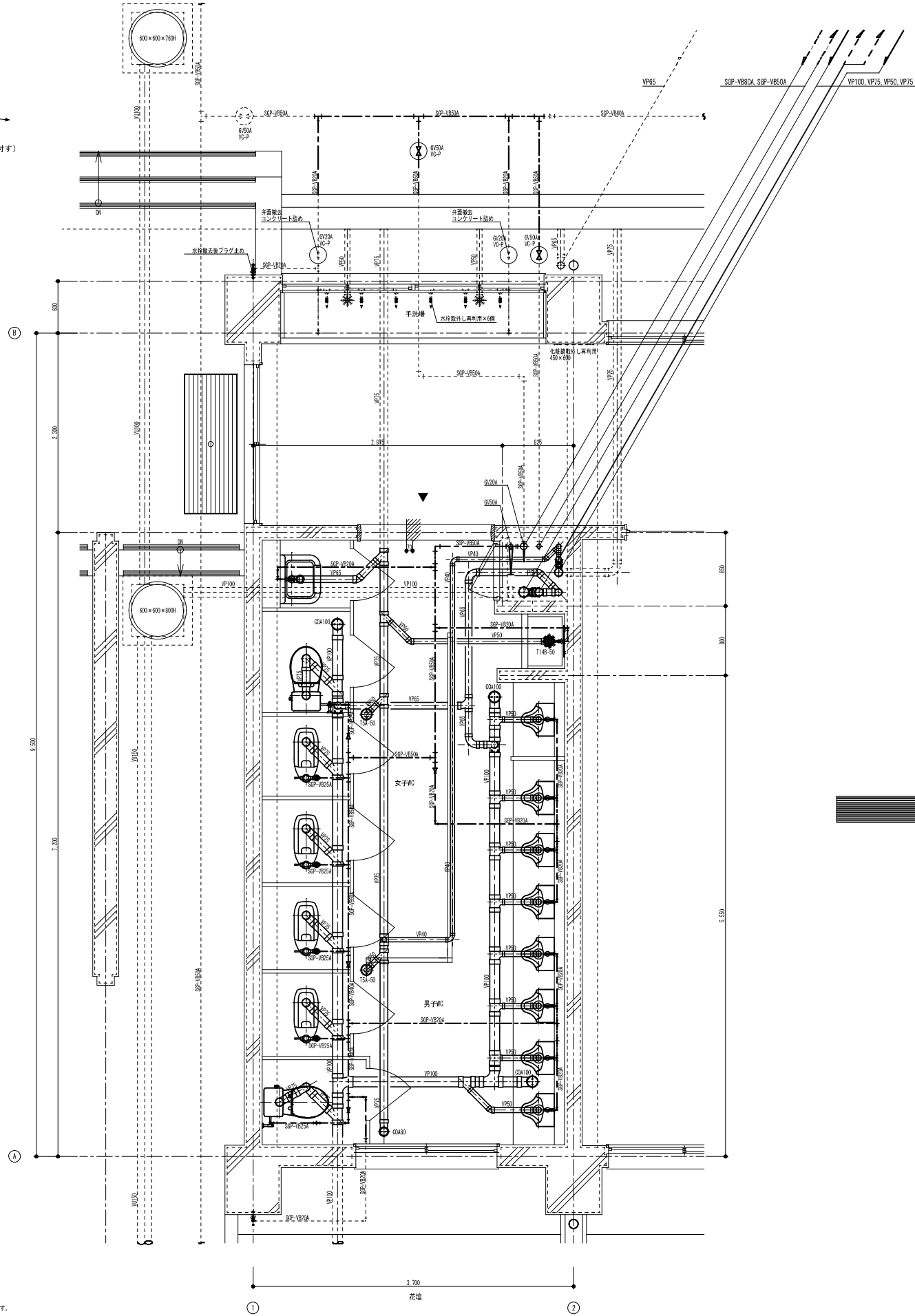
特記事項

ONO CONSTRUCTION ENGINEERS OFFICE
 有 限 公 司 小 野 設 計
 ONO.CEO

1級建築士事務所
 鹿児島県知事登録 第1-3-15号
 1級建築士大臣登録
 第193464号 小野孝輔

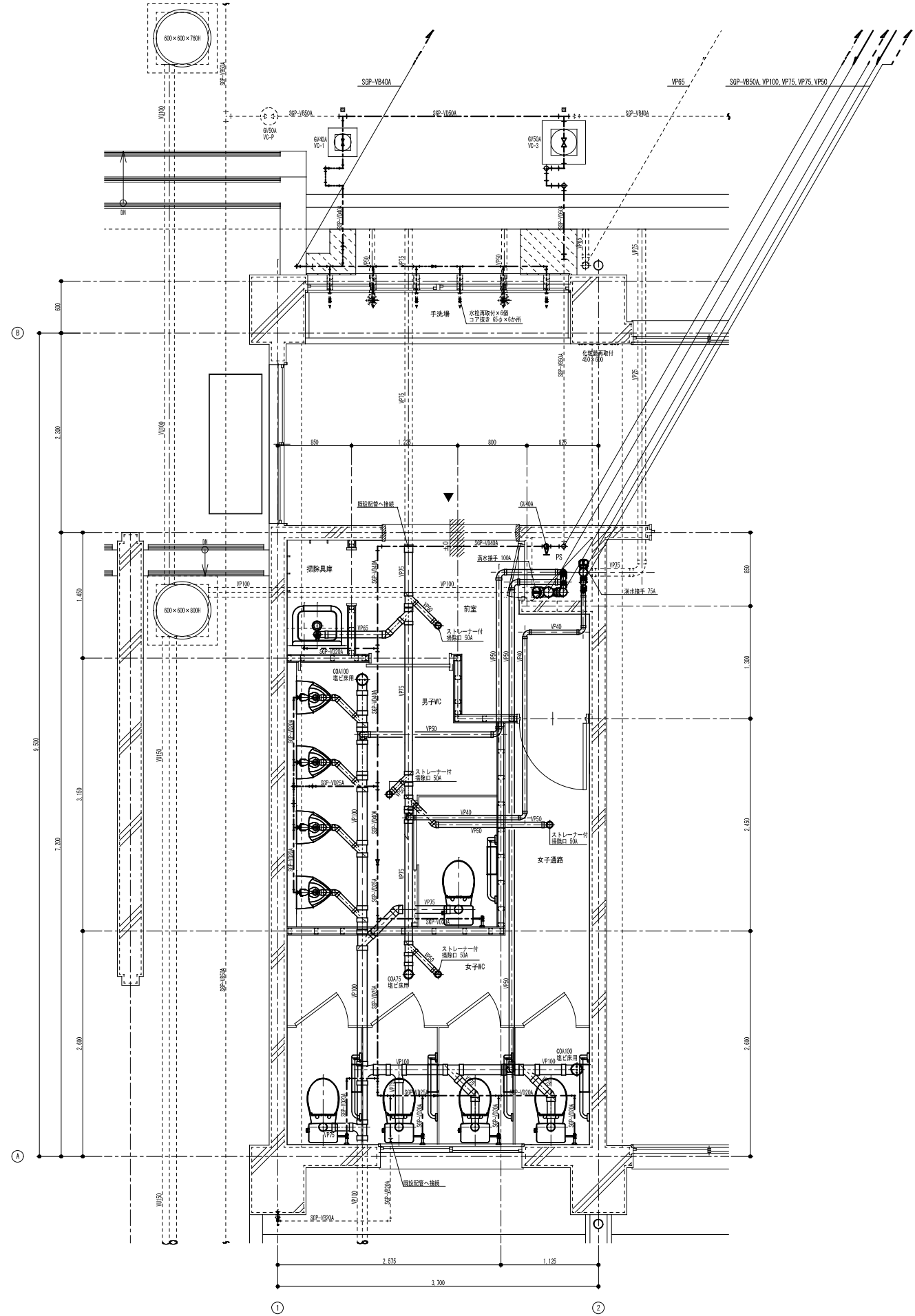
APPROVED CHECKED DRAWN PROJECT No. PROJECT
 2024-05 志布志小学校南側校舎老朽化改修工事
 DATE TITLE
 2024/09 給排水衛生設備 3階平面図(改修前)

TRADE No.
 機 種
 SCALE
 1/80 M-10



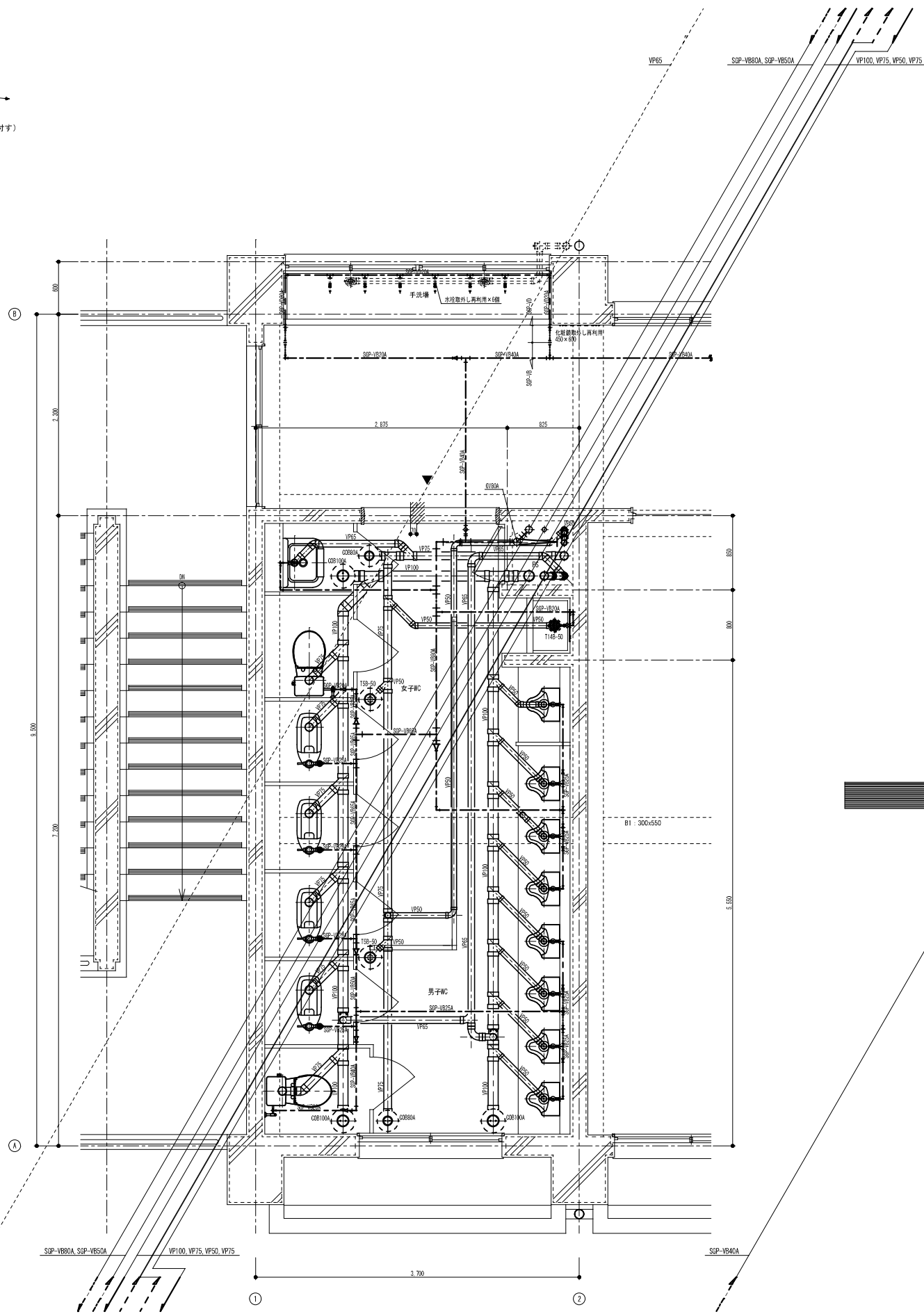
給排水衛生設備 1階トイレ詳細平面図 (改修前) S-1/30

※ 箇中、太線は撤去器具及び配管を示す。
 ※ 箇中、点線は設置器具及び配管を示す。



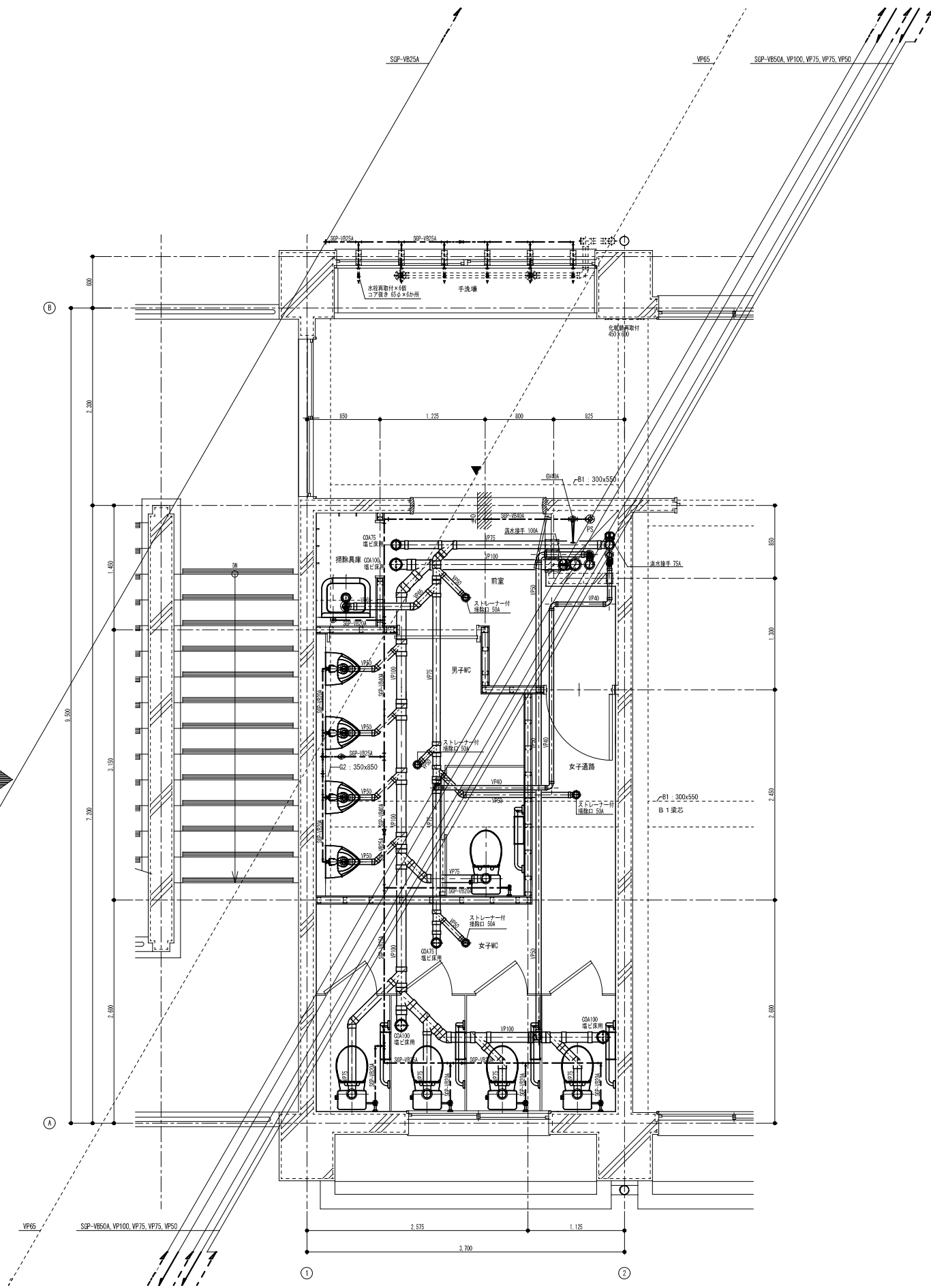
給排水衛生設備 1階トイレ詳細平面図 (改修後) S-1/30

※ 箇中、太線は改修器具及び配管を示す。
 ※ 箇中、点線は既存器具及び配管を示す。
 ※ 給水用種別は、コア付とする。
 ※ 箇中、 は、本工事・コンクリートはつり筋・復旧配管を示す。



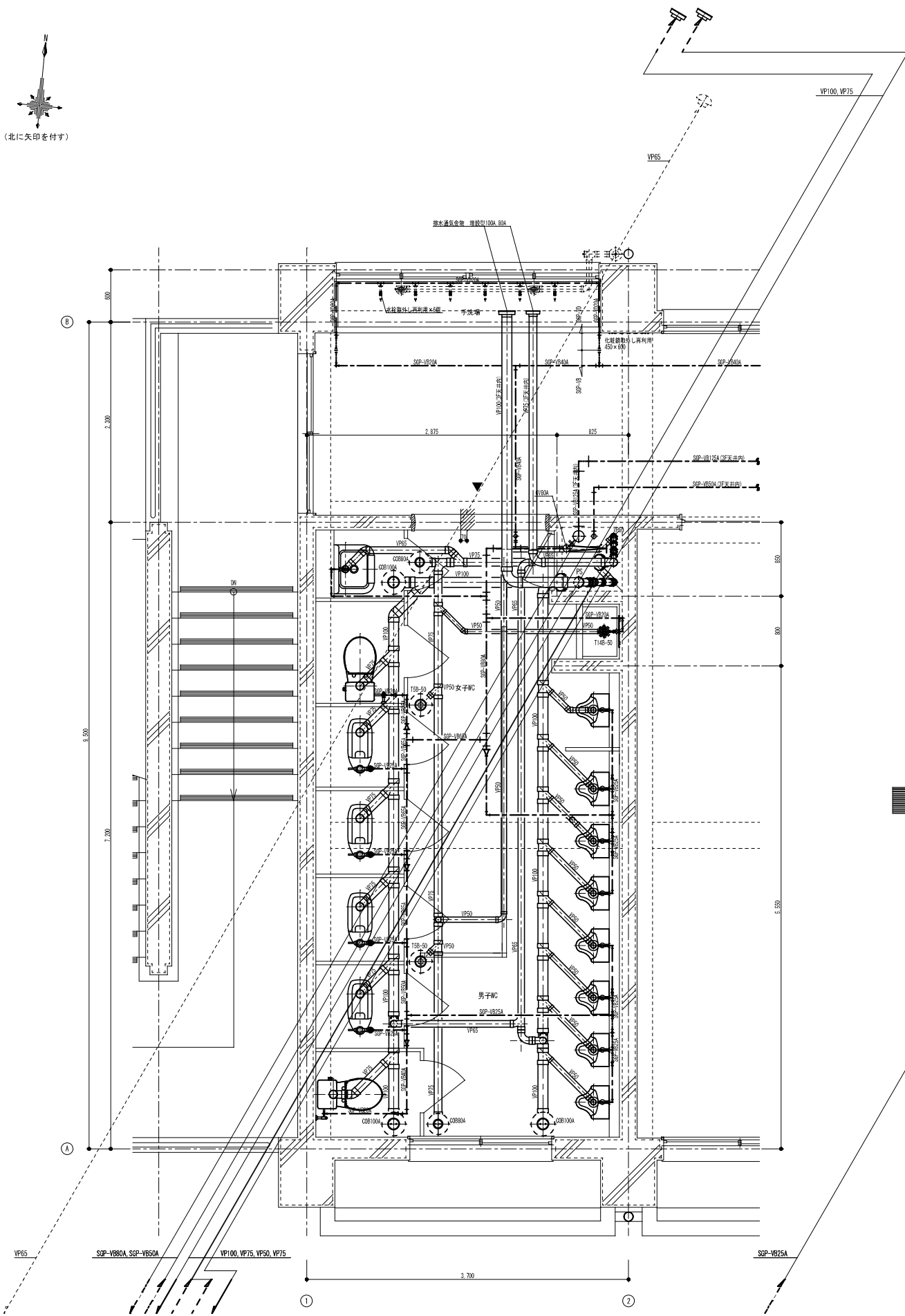
給排水衛生設備 1階トイレ詳細平面図(改修前) S-1/30

※ 図中、太線は撤去器具及び配管を示す。
 ※ 図中、点線は設置器具及び配管を示す。



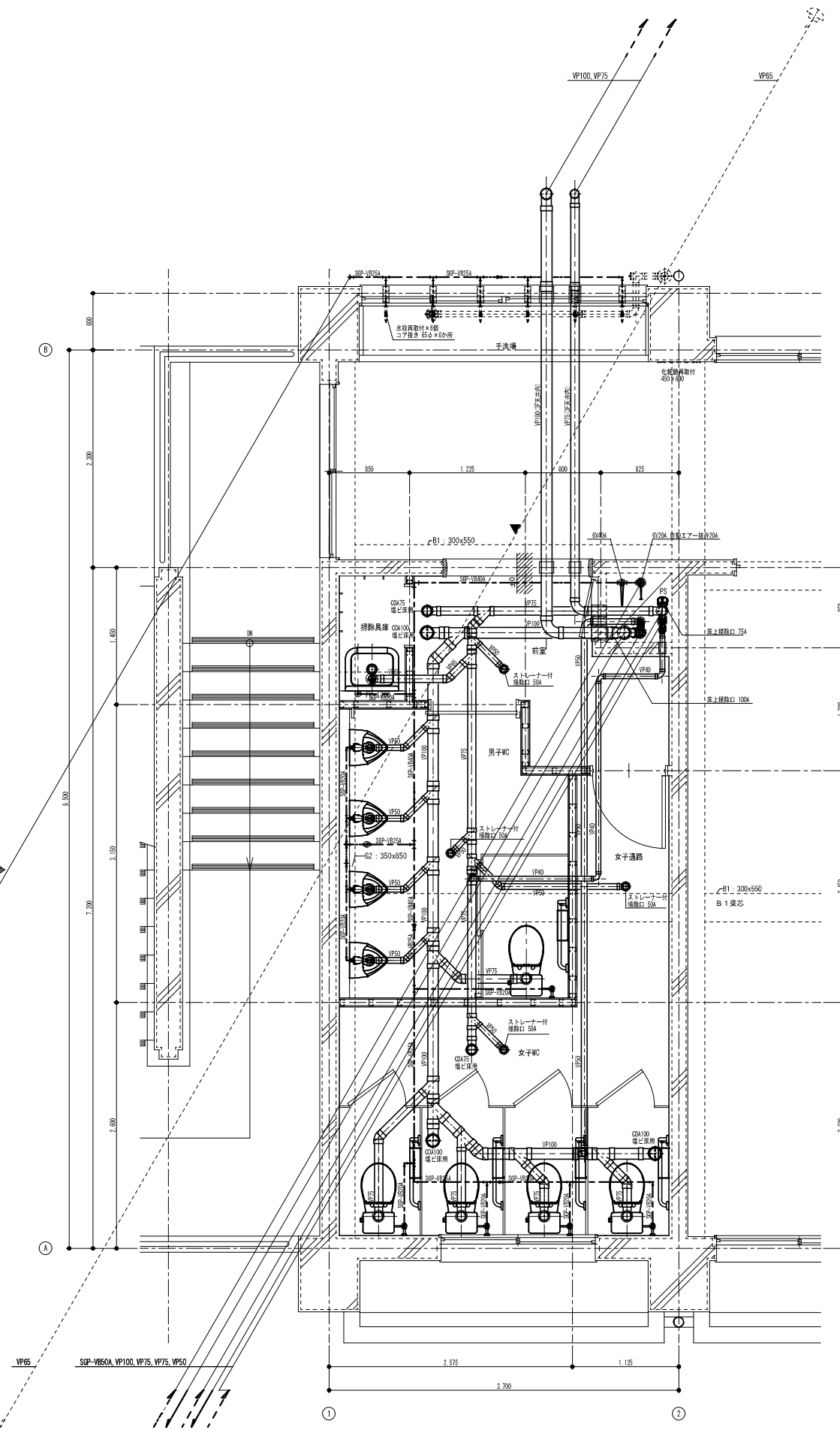
給排水衛生設備 1階トイレ詳細平面図(改修後) S-1/30

※ 図中、太線は改修器具及び配管を示す。
 ※ 図中、点線は既存器具及び配管を示す。
 ※ 給水用弁類は、コア付とする。
 ※ 図中、 はコア抜き、復旧を示す。
 ※ コア番号 20A-25A-643 40A-675 50A-6100 65A.75A-6125 100A-6150



給排水衛生設備 3階トイレ詳細平面図(改修前) S-1/30

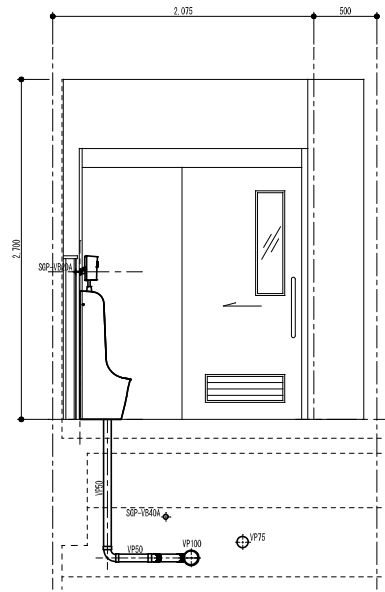
※ 図中、太線は撤去器具及び配管を示す。
 ※ 図中、点線は設置器具及び配管を示す。



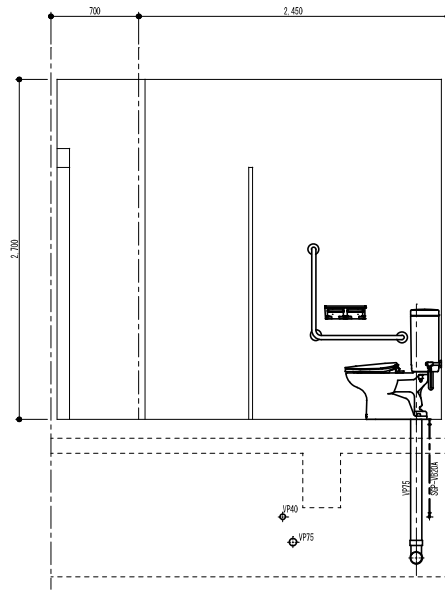
給排水衛生設備 3階トイレ詳細平面図(改修後) S-1/30

※ 図中、太線は改修器具及び配管を示す。
 ※ 図中、点線は既存器具及び配管を示す。
 ※ 給水用弁種は、コア付とする。
 ※ 図中、 はコア抜き、復旧を示す。
 ※ コア種別 20A 25A-φ43 40A-φ75 50A-φ100 65A 75A-φ125 100A-φ150

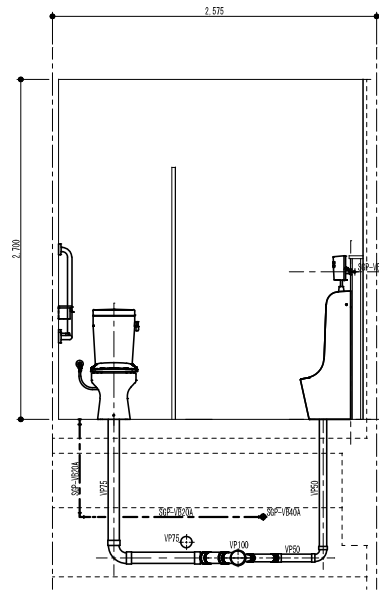
男子トイレ



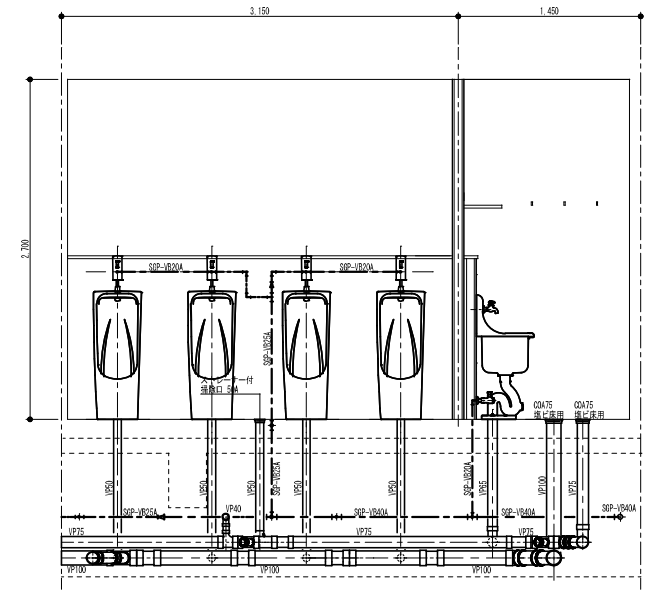
A 面



B 面

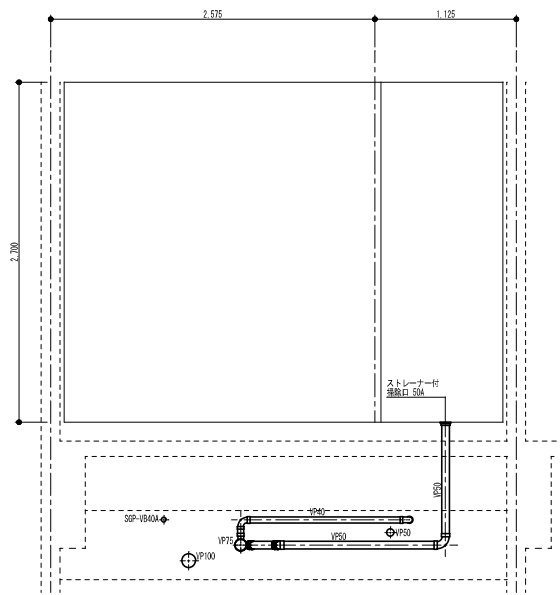


C 面

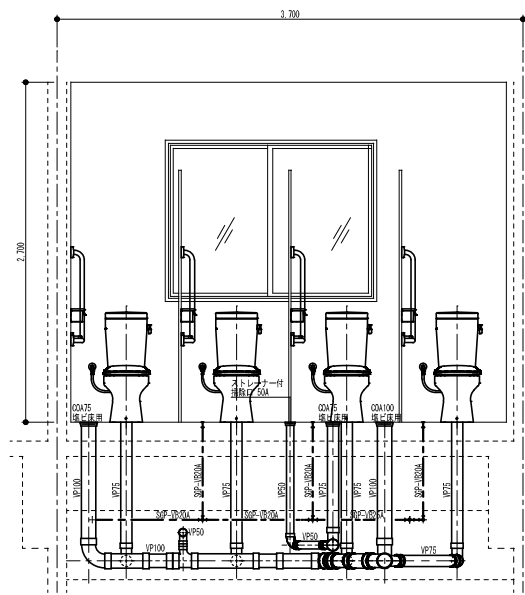


D 面

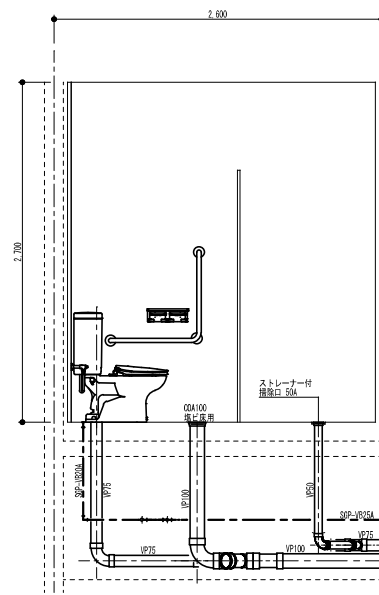
女子トイレ



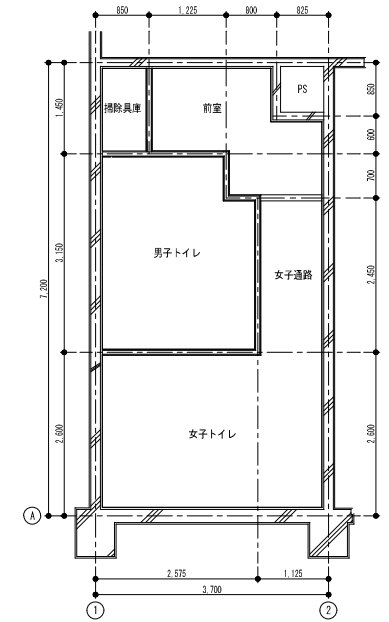
A 面

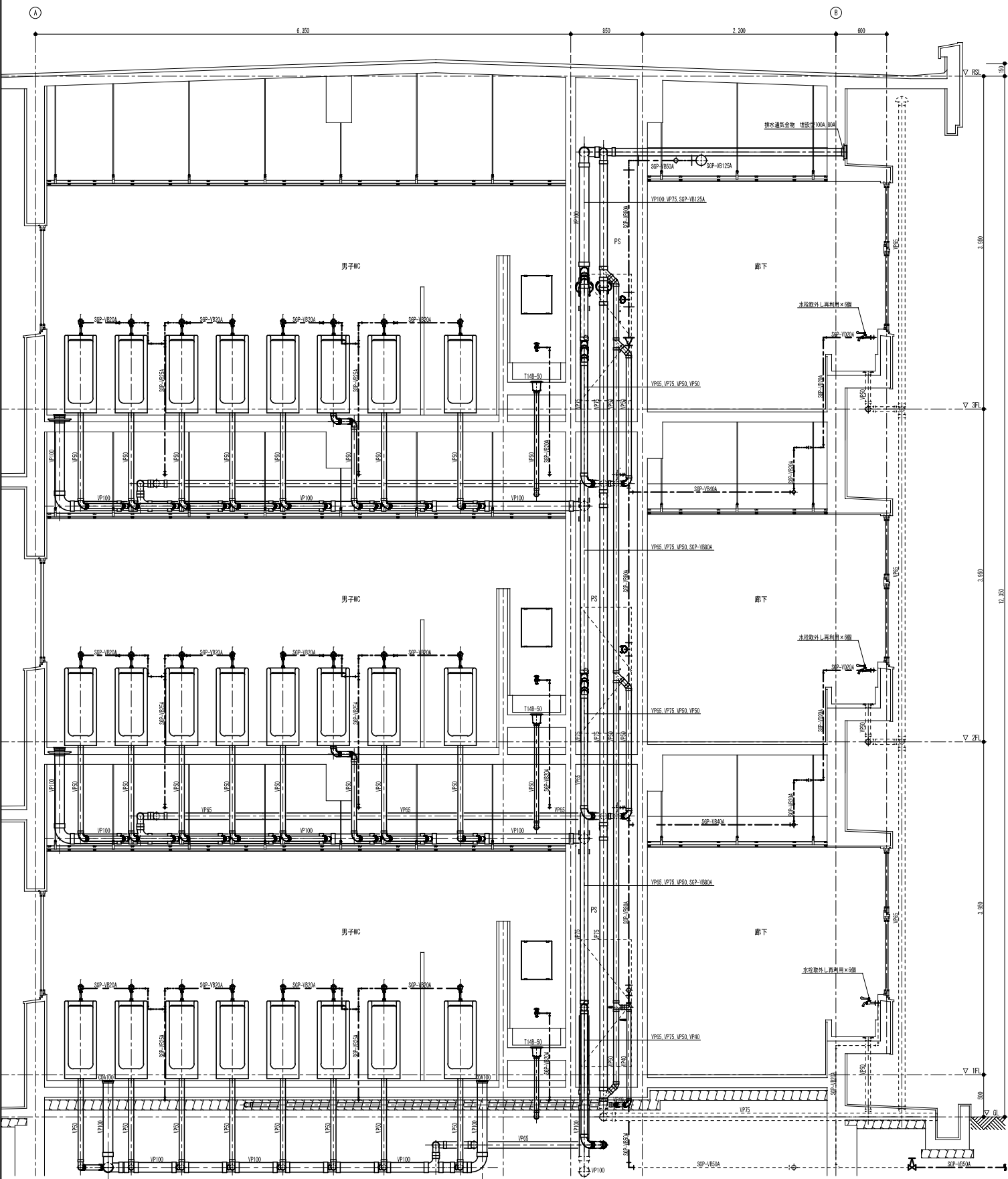


C 面



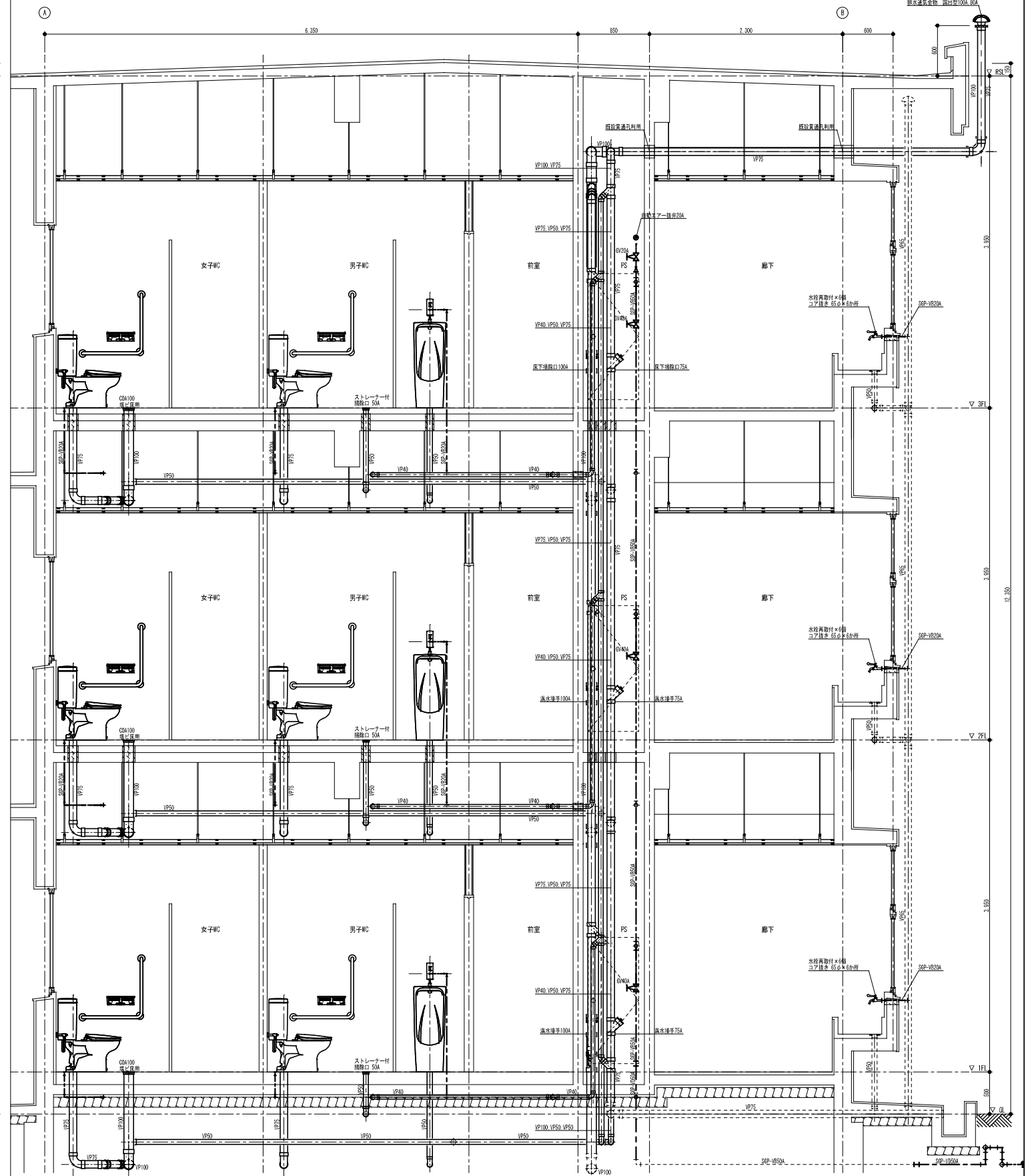
D 面





給排水衛生設備 1~3階トイレ参考断面図 (改修前) S=1/30

※ 图中、太線は撤去器具及び配管を示す。
 ※ 图中、点線は設置器具及び配管を示す。



給排水衛生設備 1~3階トイレ参考断面図 (改修後) S=1/30

※ 图中、太線は改修器具及び配管を示す。 ※ 图中、 はコア抜き、復旧を示す。
 ※ 图中、点線は既存器具及び配管を示す。 ※ コア番号 20A-254-643 60A-675 50A-6100 65A-75A-6125 100A-6150
 ※ 給水用弁種は、コア付とする。



換気用機器表

記号	形状	数量	ダクト口径 mm	風量 m³/h	静圧 Pa	参考騒音値 dB	電源			付属品	設置場所	備考
							電圧 V	単相/3相	消費電力 W			
FE-1	天井埋込換気扇	3	150	210.00	20.4	33.5	100V	1φ	40.0	SUS製深型フードφ150・ガラリ付 指定色積付塗装。	1階~3階 男子トイレ	
FE-2	天井埋込換気扇	3	150	340.00	42.6	37.5	100V	1φ	60.0	SUS製深型フードφ150・ガラリ付 指定色積付塗装。	1階~3階 女子トイレ	

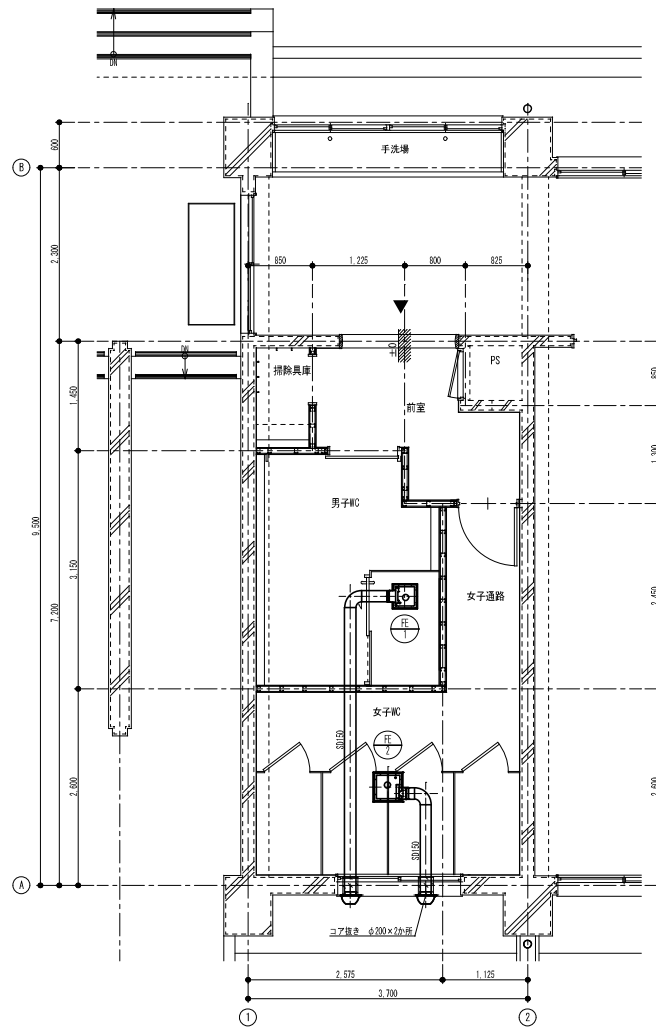
1. 天井換気扇用スイッチは、ON/OFF切替・運転表示ランプ付とする。
2. 機器は各部屋の使用等支障がないように、騒音値の低い機種を選定すること。
3. 機器機器の電気容量は、記載値以下のものを選定する。
4. 消費電力は JIS C 9603 に基づき測定した値とする。

工事区分表

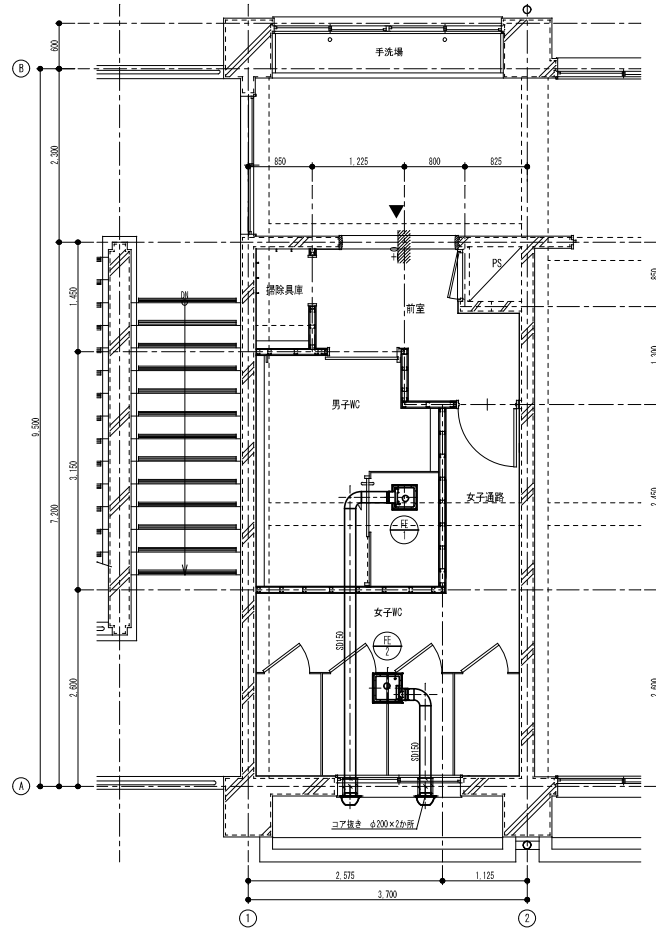
機器名称	工事項目	工事区分		
		木工事	電気工事	建築工事
換気扇	天井埋込換気扇	○		
	ダクト工事	○		
	電源送り工事		○	
	スイッチ取付用壁内ボックス、配管		○	
	スイッチ配線工事		○	
	スイッチ本体及び取付		○	
	機器天井開口補強			○
	コア抜き	○		
	同上穴埋処理	○		

換気回数による換気量

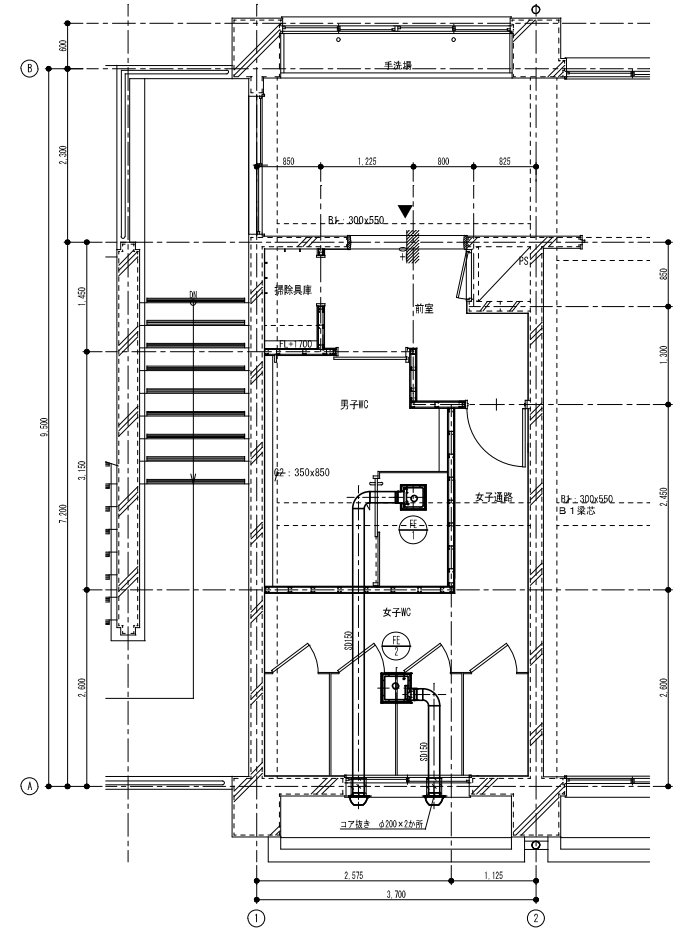
換気種別	室名	床積 (㎡)	天井高 (m)	室容積 (m³)	必要換気量 (L)	必要換気量 (m³/h)	必要換気量 (L)	必要換気量 (m³/h)	必要換気量 (L)	必要換気量 (m³/h)	備考
FE-1	1階~3階 男子トイレ	7.76	2.70	20.95	10	209.5	210.0	10.0	210.0	210.0	全10 OK
FE-2	1階~3階 女子トイレ	12.37	2.70	33.39	10	334.0	340.0	10.1	340.0	340.0	全10 OK



換気設備 1階トイレ平面図(改修後) S=1/50



換気設備 2階トイレ平面図(改修後) S=1/50



換気設備 3階トイレ平面図(改修後) S=1/50

特記事項